

野口保興先生著
地理教科用圖書

- | | | | | | | | | |
|--------------|--------------|--------|--------|----------|--------------|---------|---------|---------|
| ● 中等地理教科書 | ● 中等普通地理教科書 | ● 本邦地誌 | ● 外國地誌 | ● 女子地文大意 | ● 編輯製新地圖 | ● 日本新地圖 | ● 外國新地圖 | ● 世界大地圖 |
| 全四冊 | 全四冊 | 全一冊 | 全一冊 | 全一冊 | 全二冊 | 全一冊 | 全一冊 | 全五冊 |
| 本邦之部
外國之部 | 本邦之部
外國之部 | | | | 本邦之部
外國之部 | | | |
| 近卷九
刊十五 | 近卷七
刊十五 | 七十錢 | 七十錢 | 近刊 | 壹五
圓錢 | 近刊 | 近刊 | 近刊 |

(定價)

野口保興著 外國之部下

中等教育
普通地理教科書

東京 成美堂
目黒書房 合梓



中等普通地理教科書

外國地誌下卷目次

よーろば洲

總論	一
東部	一九
北部	三三
中部	三九
西部	六五
南部	九
あふりか洲	
總論	一
大陸部	一七

北あふりか.....一七

北部.....一七

中部.....二六

東部.....三三

南あふりか.....三七

西部.....三七

中部.....四一

南部.....四三

島嶼部.....五一

あめりか洲

總論.....一

北あめりか.....一七

北部.....一八

中部.....二七

南部.....四四

南あめりか.....六二

北部.....六六

西部.....六六

東部.....七二

江戸は海

中等教育普通地理教科書

外國地誌

ヨーロッパ目次

總論.....	一頁
自然之部.....	一
政治之部.....	四一
東部	
ロシヤ國.....	一九
北部	
スカンデナヴィア半島.....	三四
スエリゲ王國.....	三五
ノルゲ王國.....	三六

デンマーク王国

三七

中部

ドイツ國

三九

エステルライヒェンガルス君主國

五一

シツワイツ共和國

六〇

西部

オランダ王国

六五

ルクセンブルグ公國

六九

ベルジック王国

六九

フランス共和國

七三

モナコ公國

八三

イギリス王国

八四

南部

イベリア半島

九九

エスパニア王国

一〇〇

アンドラ共和國

一〇二

シブラルタル

一〇三

ポルトガル王国

一〇三

イタリア王国

一〇五

サンマリノ共和國

一一一

マルタ

一一一

バルカン半島

一一一

ギリシア王国

一一四

トルコ帝國

一一六

ボスニアヘルツェゴヴィナ

一二〇

ブルガリア公國

一二〇

モンテネグロ公國

一二二

中等普通地理教科書

野口保興著

外國地理

ヨーロッパは洲

● 總論

自然之部

境域

ヨーロッパ(歐羅巴)洲は舊大陸の北西部にありて北に北氷洋、北西及西に大西洋、南に地中海を控ふるを以て三方は海に瀕するが南東はコーカス山脈、カスピ海を隔て、東はウラル河、ウラル山脈を挟みてアジア洲に隣接せり、東西は長くして五千六百浬に亘れるも南北は四千浬を有するに過ぎず、本洲は舊世界の三大洲中最小なるものにしてオセアニア

ア|洲より稍大なるが地積は凡そ一千万方呎あり

極南 クレーマ嶋 北緯凡そ三十五度

極北 ノワイアゼムリア嶋 北緯凡そ七十七度

極東 カラ河の水源 東經凡そ六十六度

極西 イスランド嶋 西經凡そ二十二度

本洲は他の大洲に比し最海岸の屈曲に富めるものなれば其の延長は比較的著大にして實に三萬二千呎に達せり、而して地中海並に大西洋の沿岸は岩礁多く絶崖に富みて甚しき屈曲を呈供するも、其の他、内海の沿岸は概平低にして河口の外には著しき彎曲を見ること少なし

北氷洋 カラ海 白海

バルト海 北海 マンシ海 アイア

大西洋 ランド海 ガルエイ灣 プリストル灣

海灣

ザスコーギ灣 カダス灣

リオン灣 ジェノア灣 ナレニア海

イオニア海 アドリア海 エジエ海

マルマラ海 黒海 アゾフ海

ワイガチ

スカゲルラック カッラガット スンドバード

カレー 北水路 セントジョーシ水路

シブラルタル メシナ オトラント

ダルダデル ポスホルス

カニン スカンヂナピア ユットランド

イベリア イタリア バルカン

モレア クリミア

北部 氷岬 北岬 リンデスチス岬

半嶋

イベリア

モレア

北部 氷岬 北岬

海峽

スカゲルラック

シブラルタル

ダルダデル

カニン

イベリア

モレア

南部 氷岬

地角

地峽

嶋嶼

地角 北西部

ハルステルボ岬 スカゲン岬 ウラス岬
ランツェンド岬 クリアー岬 サンマナー
岬 ヒニステール岬 セントビンセント岬

南部

ジブラルタル岬 テウラダ岬 パッセロ岬
スバルナベント岬 マタパン岬

地峽

北氷洋

スピッツベルグ群島 ノワイアゼムリア諸島

ダンマルク諸島 ボルヌホルム島 エラン

ド島 ゴトランド島 エゼル島 ダゴ島

オランダ島 テクセル島 ヘルゴランド島

ワイト島 ノルマンザア諸島 イスランド

島 ロホデン諸島 シェトランド島 オークチ

大西洋

嶋嶼

イ諸島 ヘブリッズ諸島 プリタニア群島

地勢

山岳

地中海

パレアル諸島 コルス島 サルデニア島
シシリア島 マルタ島 ダルマシア群島
イオニア諸島 セリゴ島 クレーター島
シクラデス諸島 スポラデス諸島

本洲は地勢上分ちて二部となすを得べし、其の大陸部は
バイヨンヌよりアストラハンに至る線とバイヨンヌより
カラ海に至る線との間にありて其の半島部は本洲の南部
と北西部とにあり

高地は中央に彙集して周旁に傾斜せり、之を高地ヨロー
パとす、平均海拔は三百五十米突なるが主要の山塊はアル
プ山脈にしてフランス山彙、ドイツ山脈、カルパット山脈は之
が従屬たり、又此の高地の東北及西に當り大平野の在する
ありてウラル山脈の外、他には微々たる丘陵又は臺地を見

るに過ぎず而して南方に當りては廣狹の一ならざる地峽に依りて數個の半島を分派せり又半島島嶼の中にて北部に於けるものの海拔は顯著ならざるも海岸は極めて屈曲に富めり

コーカス山脈

ヨーロッパ山岳の直立がアジアの山岳に及ばざるや遠く、五千米突以上に達する高峰はコーカス山脈中に存するのみにて眞のヨーロッパ山岳たるアルプ山脈の最高處は四千八百十米突を有するに過ぎず而して本洲の大部分は北方の平野なるが之に内部の平低の地並に多少の窪地を加ふればヨーロッパ洲の平均海拔は三百米突を超過せざるべし土地の起伏より考ふるときは本洲の山岳を三群に分つを以て適當なりとす、其の南部山脈は山岳重厚、高度顯著なるがアルプ山脈モンブラン(四八一〇)、ロザ山(四六三〇)は之が盟主たり、其の中央

南部山脈

中央山脈
北部山脈

火山

河流

山脈はカルパット(三六六三)とピレネー(三四〇四)との兩山脈の間に亘れるものなるが高度は著しからず、其の北部山脈はブリタニアの山脈並にスカンヂナビアの山脈より成れり
火山にはイタリア半島にベジッパ山あり、シシリア島にエトナ山あり、イストラシド島にヘクラ山あり

河系が山脈ニ從屬せずして同一の水流が山間流、臺地流、平野流、等各種の特兆を呈供するが如きは實に他の大洲に於ては稀なる所なり、又平野の河流に於けるも亦流域完全ならずして往々山脈を横斷するを觀る、是本洲の河流が交通上に便益を與ふることの至大なる所以なり

水脈中にて最、航行に適するは平野流なるが各河の航行部を河長の分數にて表指すればボルガ(16/17)、ドナウ(11/12)、セイヌ(4/5)、ライン及ローヌ(2/3)、ダービー(1/4)、ナベル(1/10)を

ヨーロッパに於ける十河の延長と水量との對照表

河名	河長	水量
ねばー	58	2954
ほー	675	1718
せーぬ	776	507
ろーぬ	840	1720
たーひ	895	330
ろわー	980	985
えーん	1100	1371
らーん	1320	1975
せなう	2850	9180
ほーが	3400	9889

得るなり而して河口の状態は注水海の如何に依るものなるが潮汐少なき地中海及北海にありては三角洲を爲すもの多く之に反して大西洋にありては概河灣を形成せり而して主要なる河流を長の順に依りて列記すれば括弧内の

数字は料ボルガ(三八〇〇)、ドナウ(二八五〇)、ライン(一三二一〇)、エルベ(一一〇〇)、ロワール(九八〇)、ターボ(八九五)、ローヌ(八四〇)、セイヌ(七七六)、ポ(六七五)、チバー(五八)等を得又此等の河流を水量の順に依りて列記すれば括弧内の数字は一秒時立方米突なり ドナウ(九一八〇)、ボルガ(四五〇〇)、チバー(二九五四)、ライン(二七二八)、ローヌ(二七二〇)、ポ(一七一一)、エルベ(一三七一)、ロワール(九八五)、セイヌ(五〇七)、ターボ(三三三〇)等を得るなり

本洲第一の巨流をボルガ河とす、長は三千八百料に達し流域は百四十六萬方料を有するも平均水量は一秒時に四

ボルガ河

千五百立方メートルに過ぎず、水源をワルダイの臺地、海拔六十
五米突の處に發し東流して數多の沼湖の水を容れ、ボロギ
を越ゆること三十五回にしてツエルに至れば航行自由と
成り運河に依りてバルト海に通せり、而してニジニノウゴ
ロドに於てオカ河を合はせ、カザンを經過したる後、カマ河
を容れ、左岸は平坦なる草原なるも右岸は絶壁にして風色
に富めり、カスピ海を距る五百料の地に於て三角洲に入る、
ボルガ河はカスピ海に注水するも此の大湖をして其の水
量を維持せしむるに足らざるのみならず反りて泥砂を輸
送し來りて湖底を淺からしむ、然るも魚類を産すること夥
しきが故に沿岸の住民に漁利を與ふること少なしとせず
本洲第二の巨流をドナウ河とす、長は二千八百料にして
流域は八十萬方料なるも平均水量は九千二百立方メートルに

達せり、水源をシワルトツワルド山脈に發しドイツシラの麓
に沿ひてバイエルヌ臺地の北邊を洗ひ、ペーメンとアルプ山
脈の東端との間に於て峽谷を開き、井エヌを經、ウングアルヌ
平野に入り、小カルパット山脈を迂回し第二の峽谷に依りて
バコニーワルドを越え、ウングアルヌの大平野ヲ潤しつゝ南
下せり、ドラウ、テイス、サーエを容れて屢、流向を變じ鐵門と
稱する第三の峽谷に依りて後シルバニアアルプを横斷し、
ローマーニア平野の南部を過ぎり、ドプルチアの小臺地に達
ひて北行しガラツの附近に至り分れて數派と成り三角洲
を形成して黒海に注水せり
ライン河は水源をアルプ山脈のサントゴタルド山彙に發
し狭長なる縦谷に依りて山地を流下しコンスタンツ湖と
成りシワイツの臺地を過ぎり、シッファウセンの瀑布を爲し

沼湖

てシッラ山脈を越ゆるアル河を容れ、ボーシ山脈とシ。ワルツワ
ルド山脈との間に於ては平野を潤し、マインツに至り西に
折れて狭隘なる河床の中を流れ、ボンヌを経てザッセルドル
フに至り廣潤なる平野に出づれば水勢は甚だ微弱と成り分
れて數派を爲す、本流の長は一千三百二十軒にして流域の
廣は十六萬方軒なるが平均の水量は一秒時に一千七百二
十八立方米突なり

沼湖の重なるものを擧げんに、ヒンランド地方にオキガ、
ラドガ、ペイプスあり、南スエリゲにエテルヌ、エチルヌあり、
中央の山脈地方にパラトン、コンスタンツ、ゼチブあり、其の
他、ドイツの平野に沼地多し

氣候

氣温に關しては本洲を三大帶に區分するを得べし、第一
は西部に於て夏冬共に温和なり、第二は地中海沿岸の地に

天産

て夏季冬季共に氣温高し、第三は東部に於て夏暑く冬寒
き陸候の地なり、降雨の量并に雨天の數は西の方大西洋よ
り東の方アジアに趣くに從ひて減少せり、又季節に依りて
區分すれば西部は秋季に雨多く、中央并に東部は夏季に雨
多く、南部の地中海沿岸地方は夏季にありて乾燥を極むる
も春季又は冬季に於て降雨を見る

植物は氣温と降雨とに對し緊密なる關係を有するもの
なるを以て地中海沿岸の一帶には橄欖、柑、椰子、並に葡萄、桑
樹、蜀黍、米、等の産あり、西部と中部との一帶は最、穀類の耕種
に適せるが又葡萄の栽培を見ざるに非ず、北部并に東部の
一帶は森林草原の地なり、動物には猛獸奇獸の存すること
少なく、熊、狼、猪、鹿、狐、兔、等の如き普通の野獸は概、各地の山谷
に棲息するも北部又は南部に限りて生産する數種の獸類

あり而して鳥類、爬虫類、魚類等に至りては珠に列擧すべきものなし、礦物に就きては鐵は北部并に西部の地に産し、銅、金、銀は其の量多からず、白金はウラル山脈に産し、錫、鉛、水銀、亞鉛等はイギリス、エスバニア、ドイツに産せり、石炭はイギリス、ベルジック、ドイツ、フランス等の各地に産し、其の他に琥珀、硫黄、泥炭等あり

政治之部

人口は三億五千萬以上なれば之を一千餘萬方秊の地に配分すれば一方秊に付き三十五人以上を得べし又人口の配附は稍均一にして人跡の絶へたる地少なく又非常の群集を観るの土も多からず而して人種に關してはインド、ヨーロッパ人種と蒙古人種との二部に大別するを得べし、インド、ヨーロッパ人種は其の數三億以上なるが分れてギリ

住民

シアラテン、ゼルマニア、スラブの三群を爲し

- 一、ギリシアラテン群 (1,000)
 - ラテン人 (500) ロマニア人 (650) 等
 - ギリシア人 (350) セルト (200) バスク (50)
 - 二、ゼルマニア群 (2,000)
 - ドイツ人、オランダ人、
 - フラマン人、イギリス人等
 - 三、スラブ群 (700)
 - 東族 (700) ロシヤ人、バルガリア人等
 - 西族 (200) ポルスカ人、スロバック人等
 - 南西族 (500) クロアシア人、スルビヤ人等
- 蒙古人種に屬するものは其の數二千萬内外にして北、中、東の三群を爲せり
- 一、北群 ヒンランド人、ラポニア人、サモイイード人等 (500)
 - 二、中群 マチャル人 (700)
 - 三、東群 トルコ人、タルタリア人 (500)

宗教上に於ける差異は種族の如何に據れるが如き感あり

宗教

ロマンチヤ王国	13110110	141414	141414
---------	----------	--------	--------

生業

表劣優業産の國強七るけ於に辨ばるる一よ

席次	地積	人口總數	人口増殖	穀類産額	葡萄産額	家畜頭數	農産總額	石炭産額	鐵類産額	絹布製作	毛布製作	綿布製作	砂糖製造	工産總額	貿易總額	出入船舶	商船噸數	鐵路延長	郵便電信
第一	R	R	R	R	F	R	F	D	D	F	F	D	D	D	D	D	D	D	D
第二	Ö	D	F	D	F	D	D	D	D	I	D	D	Ö	D	D	D	D	D	D
第三	D	D	F	F	F	R	F	F	F	D	D	F	F	F	F	F	F	F	F
第四	F	Ö	I	Ö	Ö	Ö	Ö	Ö	Ö	R	R	R	R	R	R	R	R	R	R
第五	E	E	D	E	D	Ö	Ö	Ö	Ö	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E
第六	I	I	I	I	I	I	I	I	I	Ö	Ö	Ö	Ö	Ö	Ö	Ö	Ö	Ö	Ö
第七	I	E	F	F	I	I	I	I	I	Ö	Ö	Ö	Ö	Ö	Ö	Ö	Ö	Ö	Ö

(アリアス)I (スラフ)F (アバスキ)E (ツァイ)D (スリギ)I
 (アリア)I (スラフ)F (アバスキ)E (ツァイ)D (スリギ)I
 (ヤシロ)R (スルガソウ)Eヒイラルテスキ)Ö

東部

東部 Russia

● ロマンヤ國

ロマンヤ (Rossiya) 即ち全ロマンヤ國はヨーロッパ洲の東半部とアジア洲の北半部とより成りて東西は經度百七十二度四十二分に亘り南北は北緯三十五度に起りて同七十八度に達せり

全ロマンヤ國の地積は二千百八十八萬五千九百三十六萬方秆なるが五百三十八萬九千九百八十五方秆はヨーロッパ洲にありて一千六百四十九萬五千九百五十一方秆はアジア洲にあり

境域

部名	地積	人口	疎密
ヨーロッパロシヤ	四八八、九〇六、六二二 <small>カ秆</small>	九四二、二五四、二五八 <small>人</small>	一九八

内海	ア			パ	
	アラル海	カスピ海	アゾフ海	計	ボルネカ(ポーランド) フィンランド大侯國
計	六七七六九	四三、八六八八	三、七六〇五	五三八、九九八五	一二七三一九 三七、三六〇四
合計	二三四、九九九八	一二八九、一八二七	六	一〇六二三、四三五八	九四五、五九四三 二五六三〇〇〇
					七四 七

境界の三分の二は海洋的にして残りの三分の一は陸地的なり、然れども北氷洋に瀕する海岸の地は常に氷塊、流氷の爲に閉塞せられ、ベーリン海、オホーツク海、日本海にありては結氷の害稍、少なく交通の便を缺くは毎年數ヶ月のみなるも、白海の沿岸の航行に適するは僅に三ヶ月なり、バルト海沿岸の地は延長六千七百五十軒に達するも航行上、困難多く毎年五ヶ月間は結氷の爲めに閉塞せられ、カスピ海は陸地に包まれて外海に通ずることなし、されば終始航行に堪ふる海洋は黒海(二〇一五)、アゾフ海(一四七〇)のみなるが、黒海は港灣に乏しくアゾフ海は淺くして便ならず且又此の二海は共に數多の海峡を経るに非ざれば外洋に通ずるを得ず、而して陸地的境界に就きては四千五百軒は西ヨーロッパに接し八千軒はアジア洲の有民地に隣し七千五百軒

山 岳

は山脈又は砂漠に據れり、故にロシア國は二千二百萬方呎の地積に對し僅に二萬呎の有用境界を有するに過ぎず。土地には平坦にして砥の如きあり又は多少の起伏を爲して皺波の狀を呈するあり而して高嶺の存するは南境の一部に限りて東邊の山脈之に次ぎ内部の起伏は僅に丘陵を爲すのみ、ヨーロッパ洲とアジア洲との間に跨れるコーカス山脈はエルブルス(五六四七)、カズベック(五一五八)等の秀峯を有するもウラル山脈の海拔は顯著ならず而して内部に於けるワルダイ臺地の海拔は僅に三百五十米突なり。

河 流

ロシアはヨーロッパの最長流と云はる、ボルガ河即ち大河を始めとし顯著なる水脈數條を有せり。

チバ

北ロシアの巨流たるチバ河はヨーロッパのセントローレンス河なれどもラドガ、オネガ等の沼湖はアメリカの

大湖に及ばず、オネガ湖は附近の諸流の水を集めスピル河と成りてラドガ湖に注ぐ而して此のラドガ湖も亦數流の水を容れチバと成りて流出す、本河は水清く底深く二百米突乃至四百米突の幅と平均水量三千立方米突とを以てペテルブルグとヒンランド灣との間に水路を開き大船巨船をして自由に航通するを得しむ。

ド

南ロシアの二大流たるドン及ドニエペルはドナウ河に次ける長流なり、ドン河(二八一〇)はイバン湖に水源を發しタガンロ灣に注ぐ流域四十萬方呎の水を集むるも平均水量は九百立方米突に過ぎず、ドニエペル河(二一四〇)は五十萬方呎以上の流域を有するも平均水量は二千八百立方米突を超ゆることなし、水源を中央の森林地に發し有名のキエフ府を經、イカテリノスラフ附近を過ぎり峽谷を過ぎて再

ドニエペル

沼湖

緩流と成りオデッサ灣に注げり

ロシアは沼湖に富める土地なるが殊に北西の一帯を以て然りとす、其の最大なるものはラドカ湖にして一萬八千餘方呎の面を蔽ひ、此の湖に次ぐものはオチガ湖にして凡一萬方呎の面積を有せり

土地は廣漠たる平野より成りて、極地より吹き來る寒風を遮ぎる高山なきも南來の温風を遏むるに足るの秀嶺に乏しからず、從て此の地の氣温は同緯度に於ける他の地方に比すれば遙に低温にして且急激の變化あり、要するに南より北に趣きて北氷洋に接すると西より東に行きてシベリアに近づくとに依りて氣温は著しく降下せり、降雨は西より東に趣くに從ひて遞減し殊に夏季の乾燥に失するは土地の肥力を失て甚しく殺滅せしむるが如し又沼湖河流

氣候

が降雨に依りて得る所の水量は蒸發の爲に失ふものを償ふに足らざれば水脈は漸減縮して遂に涸失せんとするの兆あり

天産

鑛物には石炭、金、白金、銀、鐵、銅、石材等あり、植物には樺、松、樅、山毛櫸、菩提樹等あり、動物には熊、馴鹿、駱駝、野牛、各種の毛皮、獸、羽毛鳥等あり

住民

全ロシア國の人口總數は凡一億二千九百萬なるがヨーロッパの住民は九千四百二十一萬餘にして此の外にポルスカ(ポーランド)の九百四十五萬人并にフィンランド大侯國の二百五十六萬人あり

住民にはインドヨーロッパ人種に屬するあり又蒙古人種に屬するあり、然れども多數はスラブ種族にしてロシア人(八千萬)あり、ポルスカ人(九百萬)、リヌアニア人、フィンラン

宗教

ド人あり、シブデア人三百萬の各地に居るあり而してトルコ
ニタル人の數は一千萬以上に達せり

教育

宗教の中で最勢力あるはギリシア正教にして其の信
徒は七千二百萬人に達せり而して此の外に正教の數派に
屬するもの一千六百萬あり又正教以外には天主教に七
百萬人、耶蘇新教に四百萬人、マホメット教に五百萬人あり
教育は未盛況を呈するに至らざるも高等教育には大學
校あり、專門學校あり、中等教育には一千有余の中學校あり、
五百足らずの特種の學校あり、初等教育には四萬有余の小
學校ありて二百二十余萬の生徒を有せり

政治

ロシア帝國は君主專治の國にして皇帝は「ツァール」と稱す、
内閣あり樞密院あるも共に皇帝の任命する所にして帝國
樞要の庶政に參與するに當りては「ツァール」に對して責任を

有するのみ而して中央政廳には外務、陸軍、海軍、内務、司法、教
育、財務、農務、遞信等の諸省并に會計検査院、御料局等あり又
地方政廳には總督府、太守廳等あり而して重要な都市には
府尹を置く、此の外、司法上に於ては高等裁判所を十ヶ處に
設け各教育區には監督官を置く又宗教に關しては總管長、
管長、僧正等あり

兵備上に於ては陸軍に平時の九十萬人及戰時の三百四
十四萬人あり又海軍には三百十六隻、四十三萬噸の兵艦あ
りて其の中、帶甲艦は五十隻なり

艦隊	隻數	噸數	砲數	水雷管發數	馬力
バルト艦隊	二二四	二九四八二〇	一五四五	三四八	三七五七二六
黒海艦隊	六六	一一八七六二	四三五	一三七	一四三〇六〇
シベリア艦隊	二九	一四四二七	一三三	三四	三七八三一

生業

財政に就きては千八百九十六年度に於て歳入二十三億六千八百萬、ルーブルありて歳出に十二億二千九百萬、ルーブルありたり又公債の總額は六十一億、ルーブルなり

農業は帝國の生業中に於て首位を占め、住民の十中九までは本業に従事せり、農産の第一は穀類にして此の外に亞麻、大麻、馬鈴薯、煙草の産あり而して南部は果樹を培養し北部の森林は樺、松、樅等を産す、牧畜は盛に行はれて牛、馬、羊を飼養し、漁業は二千五百萬、ルーブルの産あるも獵業は二百萬、ルーブルに過ぎず、鑛業は金を産し銅、鐵、銀を與ふるも白金、鉛、錫、亞鉛等の産額は著しからず、其の他、岩鹽、石油、石炭の産は少なからず、工業は未だ盛大なるに至らざるも近來長足の

貿易

の進歩を爲してサンクトペテルブルグ、モスクワ等の如き人口稠密の地には幾多の工場、製造場の設立あり而して工業中にて蒸溜、釀造、紡績、製糖、製油、製鐵、製麻、毛布の製作、煙草の製造等は稍著しとす

貿易の總額は凡十三億、ルーブルなるが輸入國はドイツ、イギリス、清國、合衆國等にして輸出國はドイツ、イギリス、フランス、イタリア、エステルライヒ、ルンガ、ルヌ等なり

年次	輸入	輸出
一八九〇	四一六 <small>百</small>	七〇五
一八九一	三七九 <small>百</small>	七二二
一八九二	四〇三 <small>百</small>	四七五
一八九三	四六三 <small>百</small>	五九九
一八九四	五五九 <small>百</small>	六六八
一八九五	五三八 <small>百</small>	六八九
一八九六	五八九 <small>百</small>	六八九

而して輸入品の主要なるものは綿布類、機械類、鐵、茶類、金屬器類等にして輸出品の主要なるものは穀類、亞麻、木材、砂糖

交通

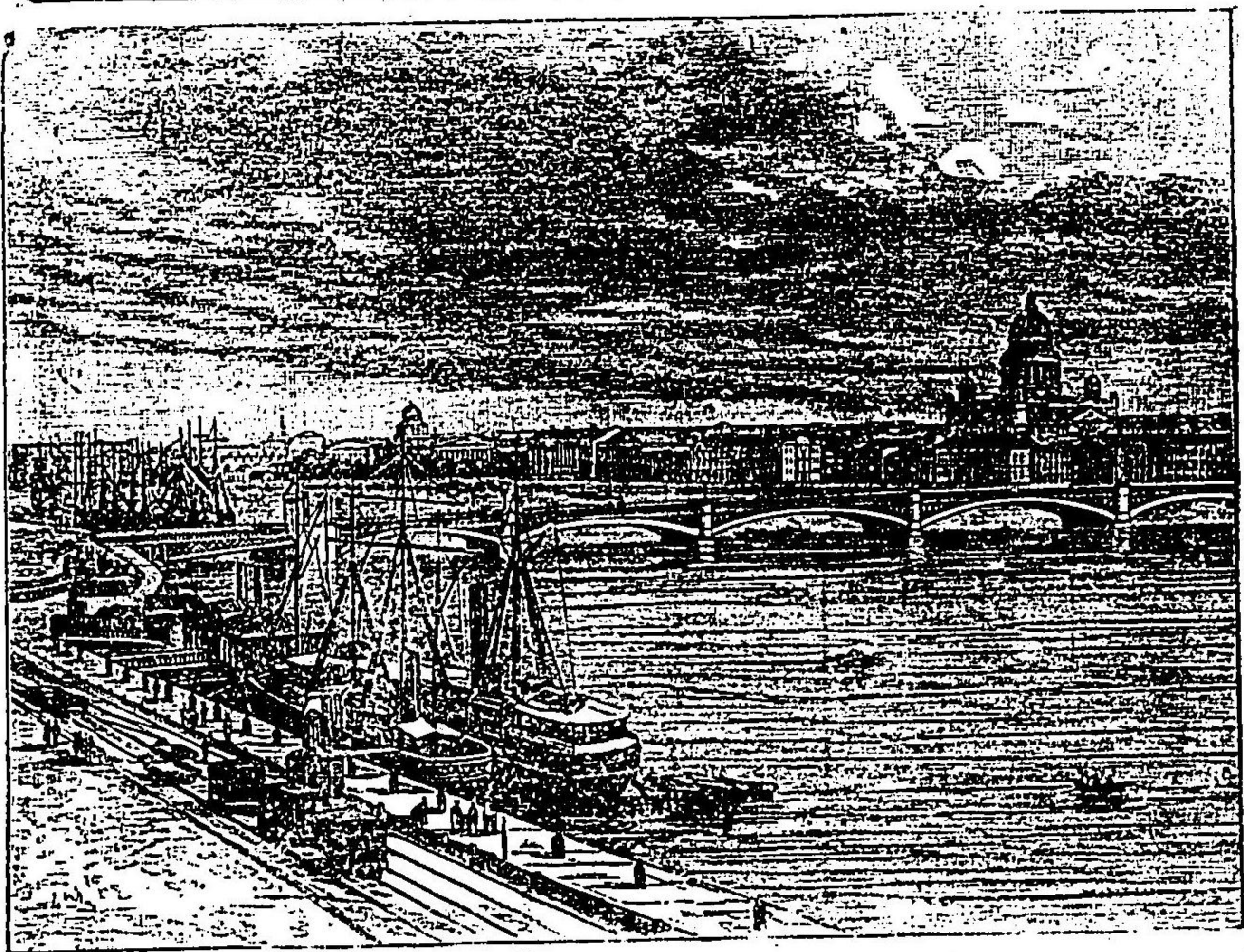
石油、鶏卵等なり
交通に關しては航河の三萬五千籽及運河の八百籽あり
鐵路に四萬二千籽あり郵便局の數は九千二百にして電信
局の數は四千九百なり而して船舶には二千二百隻三十三
萬噸あり

ペテルブルグ

サントペテルブルグ(二二八、〇〇〇)はペテル大帝の創
建(一千七百三年)に係りて帝國の首都なるがヒンランド灣
に瀕しチバ―河に跨れり土地は濕潤に過ぎて寒氣は凜烈
を極むるのみをらす時に洪水の患あるも街衢は端麗にし
て道路は廣濶なり宮殿寺院は屹然として高く聳へ商店倉
庫は整然として軒を列ぶ實に世界屈指の大都會たるに恥
ぢず、クロンスタド(五、九〇〇)に有名の軍港あり、モスクワ(一
〇五、〇〇〇)は舊都の一にしてロシア人の以て聖地と爲す所

モスクワ

ワルサワ
オデッサ



(河 - パチ - グルブルテベ)

なり、寺院極めて多く
其の數、四百有余に達
せり、殊にクレムルの
宮殿は歴史上有名な
り、とす、本市は此の國
上流社會の避寒の地
なれば庭園別墅多く
廣袤甚大にして頗る殷
賑なり、從て商業工業
共に見るべきものあ
り、ワルサワ(六四、〇〇〇
〇)はポルスカの舊都
にして井スラ河の畔

キイエフ
リガ
ロツ

にあり、オデツサ(四〇〇〇〇)は建設以來、未だ百年を経ざるも帝國第一の貿易港にして盛に穀類を輸出せり、キイエフ(二五、〇〇〇)は舊都の一にしてロシア人の聖地として崇拜する所なり、リガ(二八、〇〇〇)はバルト海に瀕する商港なり、ロツ(三二、〇〇〇)は工業上第一の中心なり

ハルコン(七〇、〇〇〇)はドン河の流域にありて良土の中央に位せり、サラトフ(四〇、〇〇〇)はボルガ河に瀕する一都會なり、キシヌー(二、〇〇〇)はベッサラビアにあり、井ルナ(三六、〇〇〇)はリスミアニアにあり、アストラハン(二、〇〇〇)はカスピ海沿岸の地にあり、カザン(三三、〇〇〇)はギリシア教のロシア人とマホメット教のタタール人との雜居する處なり、ニヂニコポロッド(九、五〇〇)は市場として名を知らるセバストポリ、スモレンスクは共に戦史上著名の地たり

◎ ヒンランド

ヒンランド大侯國はロシアの北西部にありて三十七萬余方呎の地積を有せり、此の地が不流の瀦水に富めるは實に世界無比にして氣候は凜烈な

るも健康に適し七ヶ月に亘る冬季は嚴寒なれども夏季は温暖にして乾燥を極む

人口は二百五十六萬ありて一方呎に付き七人の割合なるが同緯度の諸國に比すれば住民の多き方なり而して住民を種族別にすればヒンランド人(三五萬)、スエリゲ人(三)にしてロシア人は少なし、宗教はルーテル派の新教を奉ずるものを以て最多しとす

ヒンランド

ヒンランド大侯國はロシアと合同して同一の皇帝を君主に載くも君民同治なれば國會を有せり、貿易は全計三億七千萬マルクなるが木材、バター、紙類等を輸出せり、商船は二千隻と二十八萬噸とを有し、鐵路の延長は二千五百呎に近し、ヘルシングホルス(七、七〇〇)は大侯國の首都にして總督府の所在地なるが有名の大學校を有せり

北部

● スカンデナヴィア半島

スカンデナ
ヴィア半島

本半島は北氷洋、北海、バルト海、ボトニア灣に瀕し、ヒンランド及びロシアに接す。地積は七十七萬方呎にして、其の内、四十五萬はスエリゲに屬し、三十二萬はノルゲに屬せり。海岸は屈折に富みて、狹灣は深く、陸地に侵入し、シグナヒヨルドの如きは百七十呎の長を有せり、而して狹灣の沿岸はスエリゲにありては灣曲に乏しきも、ノルゲにありては山岳高く、聳む最淺の處は灣口にあるを常とす。

顯著なる隆起帶は西部にありて、臺地又は山脈、山彙を形成せり。又氷原はノルゲに於ては廣大なるものあれども、スエリゲに於けるものは甚だ顯著なるにあらず。

河流はノルゲにありては短小なれども、スエリゲにありては稍長し、沼湖はノルゲの地積の千分の二十五を占め、スエリゲの十二分の一を蔽ふ。

ノルゲに於ては氣温の年平均は二度五分なるが、西部は海候にして、北海並に北氷洋に瀕する地には降雨多し、之に反し、スエリゲは陸候の國にして

北部の年平均は零度下二度にして、南部の平均は七度なり。

スエリゲ、ノルゲの二國は一千八百十四年以來同一の君主の下に統治せらるゝも、國體は各國獨立にして、各特殊の政治機關を備具せり。然れども海外派遣の公使領事は兩國を代表して、其の臣民を保護せり。

● スエリゲ王國

スエリゲ

スエリゲ (Sverige) の人口は五百萬餘なれば、一方呎に付き十一人の割合なり。住民の多數はスエリゲ人にして、ヒンランド人は二十萬、ラポニア人は六千弱なり。教育は普及して、讀書を知らざるものは全く其の跡を絶てり。殊にルンド及びウプサラの大學校は有名なり。政體は君民同治にして、陸軍に平時の三萬九千人、戦時の二十九萬人、海軍に六千五隻、四萬五千噸あり。貿易は全計七億クロナにして、木材、紙、製紙用木粉等を輸出せり。鐵路は一萬呎にして、人口に比すれ

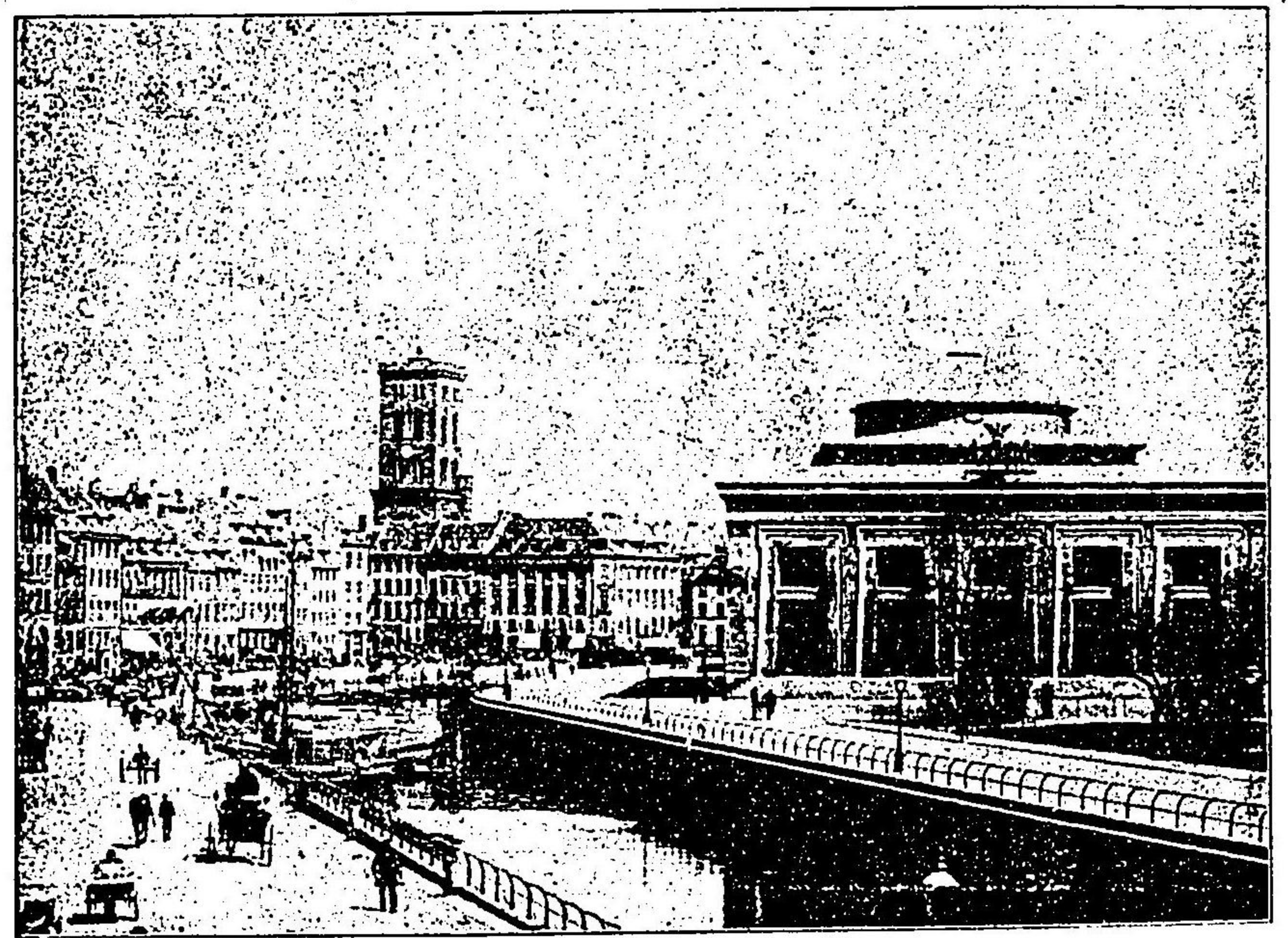
はヨーロッパ第一たり、商船には二千八百隻、五十萬噸あり、ストックホルム(二九、〇〇〇)は王國の首都なるが商業盛なり、ゲテボルク(一一、〇〇〇)はスエリゲ第二の商港たり

●ノルゲ王國

ノルゲ(Norve)の人口は百九十九萬に近くして一方糶に付き六人の割合を與ふ、教育の普及はスエリゲに劣らずしてクリスチアニアの大學は著名なり、政體は君民同治にして陸兵に平時の二萬人、戰時の五萬人、軍艦に六十一隻、二萬五千噸あり、生業中にて最盛なるは漁業にして漁人の數は十萬以上に達せり、貿易の高は四億三千萬「クロナ」にして木材、木具、紙類、皮革、凍氷等を輸出せり、商船は七千二百隻、百五十六萬噸あるを以て比較上世界第一と稱せらる、又鐵路の延長は一千九百粍なり、クリスチアニア(一五、〇〇〇)は王國の

ノルゲ

ダンマルク



(館物博んするらどすーンフーハンベはキ)

首都にして狹灣に瀕し、グロムメン河、ミエッセン湖の附近にあり
●ダンマルク王國
ダンマルク(Danmark)はイーランド半島の北部とスヤーランド、ヒイエン、ボルヌホルヌ、其の他、百五十有余の島嶼とより成るが、地積は三萬八千余方粍に過ぎず、土地は平低にして起伏少なく

最高處と雖、百七十二米突を有するのみ、沼地多く泥炭田は各處にあり、海岸は屈曲に富みて數多の狹灣を有せり、氣溫はスカンヂナビアの二國に比すれば稍高く、キオペンハーフンの年平均は七度四分なり

人口は二百十七萬あれば一方籽に對しては五十七人と成るなり、教育は盛にして三千の小學校、七十の中學校、一の大學校を有す、國體は代議王國にして兵備上は陸兵に平時の一萬人、戦時の六萬五千ありて海軍に六十二隻、四萬三千噸あり、生業は農業を主とす、牧業も亦盛なり、貿易には六億七千「クロチル」ありて「バタ」肉類、家畜、穀類、鶏卵等を輸出す、商船は三千六百五十一隻、三十五萬噸にして鐵路の延長は二千四百五十籽なり、キオペンハーフン(四〇〇〇〇)は國都にして要港の一なり、往時の盛況を呈せざるも亦北ヨーロッパ第一

キオペンハーフン

殖民地

の都會たるを失はず、殊に此の地の大學校は有名なり
ダンマルクに屬する土地はヘルエル諸島、アイスランド、グリーンランド、アンタル諸島等にして地積は十九萬五千方籽に達するも、人口は十二萬七千有余に過ぎず

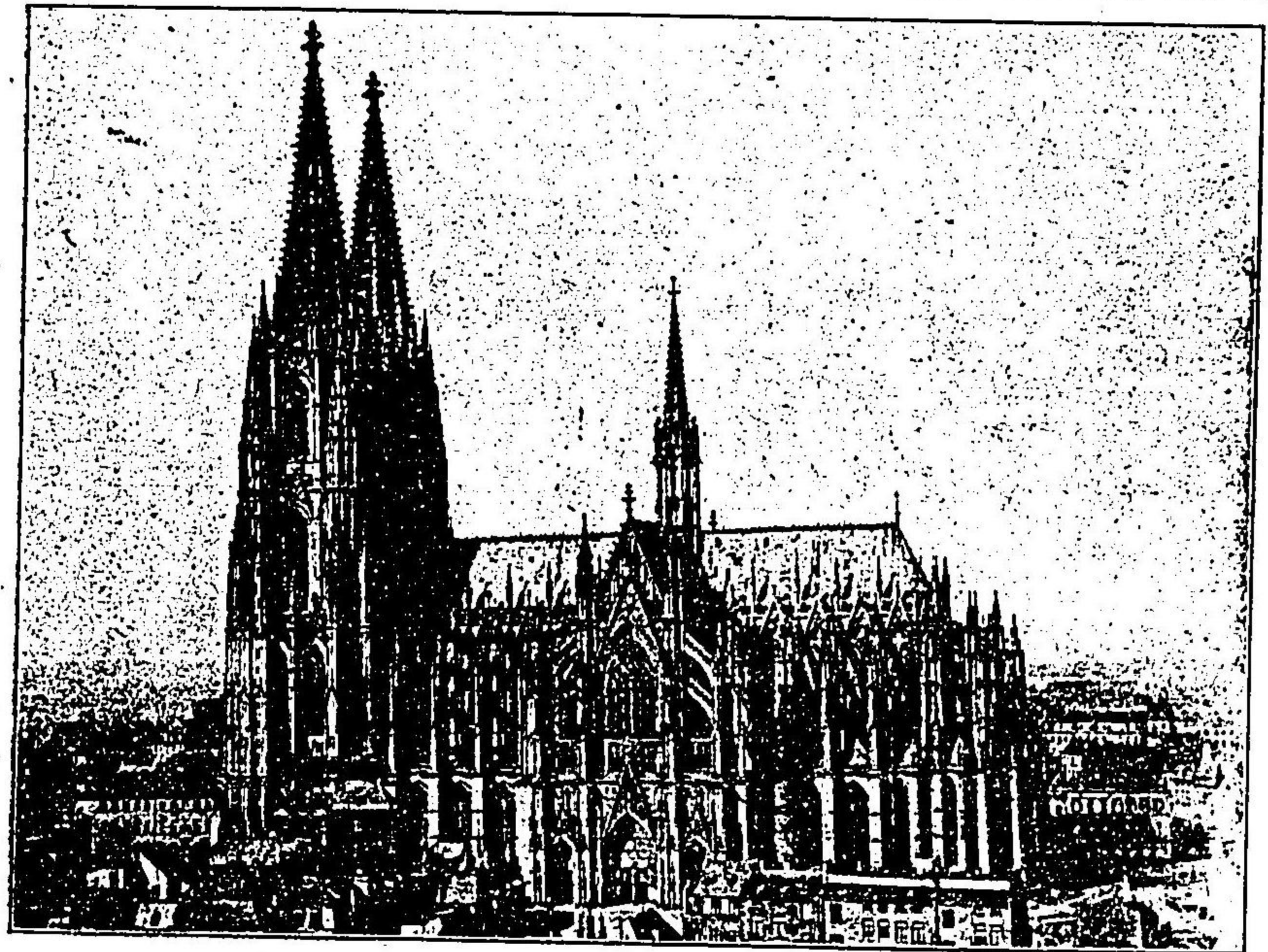
中部

● ドイツ國

境域

ドイツ國 (Deutsches Reich) は中央ヨーロッパの北部を占め五十四萬餘方籽の地積を有す、海岸は平低にして屈曲に乏しく土地は北部と東部はロシヤ平野に連なり、南西部并に西部は山地臺地より成れる一帯の隆起帯を抱括せり、河流の主要なるものはライン、ドナウの外にエゼル、エルベ、オデル等なるが黒海に趣く、ドナウ河を除き、其の他は南東より北西に流れて北海又はバルト海に注けり、平野にありては西

住
民



(ルキーンカセラ)

より東に趣くに從ひて雨量は漸次に減少し寒暑の差は愈強くなり氣温の變化は漸激烈と成る而して西部并ニ南西部にありては氣温稍高く降雨多し又南東の高地并に山岳の地にありては冬季は嚴寒を覺ゆ
人口は五千二百二十八萬にして疎密は一方料に付九十七人

政
治

なるが増殖率は八十年毎に二倍するの割合なり、住民の多數はドイツ人なるもポーレン人(二百萬)、ダンマルク人の如き異種族人の數は四五百万に達すべし且又ドイツ人中にも北部のプロイセン人、南部のバイエルヌ人の如く歴史、慣習、等を異にするものあり、宗教上に於けるも新教信者は北部并に中部に多く舊教徒は南部并に東部にあり、教育は甚盛にして各種の學校を有するが殊に學術上の進歩發明の著大なるを以て名あり

ドイツ國はドイツ皇帝の至高政府の下にある立憲國なり行政權を始め條約の締結、宣戰媾和等の權は皇帝に屬し兵備、財政、通商、交通、司法等の如き聯邦全體に關する法律の制定はボンデスラットとラインダグとの共に司る所なり、ボンデスラットは各邦より派遣せる五十八人の全權委員より

成りてライシタグは一般の投票に依りて撰出たる三百九十七人の代議士より成れり、聯邦は一大國、四中國、二十小國より成りてエルサス、ロトリンゲンは別に一の帝國領土を爲せり

聯邦一覽表

國名	地積	人口	疎密
プロイセン	三四、八四三七 <small>方里</small>	三一八五、五二二三 <small>人</small>	九一 <small>方里二什</small>
バイエルス	七、五八六五	五八一、八五四四	七七
サクセン	一、四九三三	三七八、七六八八	二五三
ユルテンベルグ	一、九五一七	二〇八、一一五一	一〇七
バーデン	一、五〇八一	一七二、五四六四	一一四
ヘッセン	七、八六二	一〇三、九〇二〇	一三五
メクレンブルグ、シヤエーリン	一、三一二七	五九、七四三六	四五
サクセン、ワイマル、アイゼナヒ	三、六一五	三三、九二一七	九四
メクレンブルグ、ストレリツク	二、九三〇	一〇、一五四〇	三四

國名	地積	人口	疎密
オランダ、フランク	六、四二七	三七、三七三九	五八
フランダシヤ、ワイヒ	三、六七一	四三、四二二三	一一八
サクセン、マイチンゲン	二、四六八	一三、四〇〇五	九五
サクセン、アルテンブルグ	一、三二四	一八、〇三二三	一三六
サクセン、コプブルグ、ゴタ	一、九五八	二二、六六〇三	一一一
アンハルト	二、二九四	二九、三一九八	一二八
シヤウルトツブルグ、ソンドルハウゼン	八、六二	七、八〇七四	九一
シヤウルトツブルグ、ルドルス、タット	九、四一	八、八六八六	九五
ワルデック	一一、二二	五、七七六六	五一
レウス (兄派)	三、一六	六、七四六八	二二三
レウス (弟派)	八、二六	一三、二二三〇	一六〇
シヤンブルグ、リッヒ	三、四〇	四、一二三四	一一一
リッヒ	一一、二五	一三、四八五四	一一一
ルンツク	二、九八	八、三三二四	二七八
フレンメン	二、五八	一九、六四〇四	七六四

兵備

財政

生業

四十四

ハンブルグ	四一五	六八、一六三、二六四七	
エルサツス、ロトリンゲン	一、四五〇七	一六四、〇九八六	一一四
聯邦	五四、〇六六三	五二、七九九〇一	九七

兵備上に於ては世界屈指の強國なり、陸兵は平時に五十萬五千ありて戰時に於ける總員は二百五十五萬と成るなり、又海軍は九十七隻、三十二萬噸、二萬六千人を備ふるが甲鐵艦に十九隻、巡航艦に二十四隻あり

財政に就きては一千八百九十五年の豫算に依れば歳入、歳出共に十二億三千九百二十五萬マルクなり而して國債の高は二十一億八千二百萬マルクなり

南部并に中部の森林(方十三萬)は保存上又は培養上、世界第一と稱せらる而して農業の最發達せるは北部及東部に於て小麥、烏麥、馬鈴薯を産し、コンスタンツ湖沿岸の地、ライ

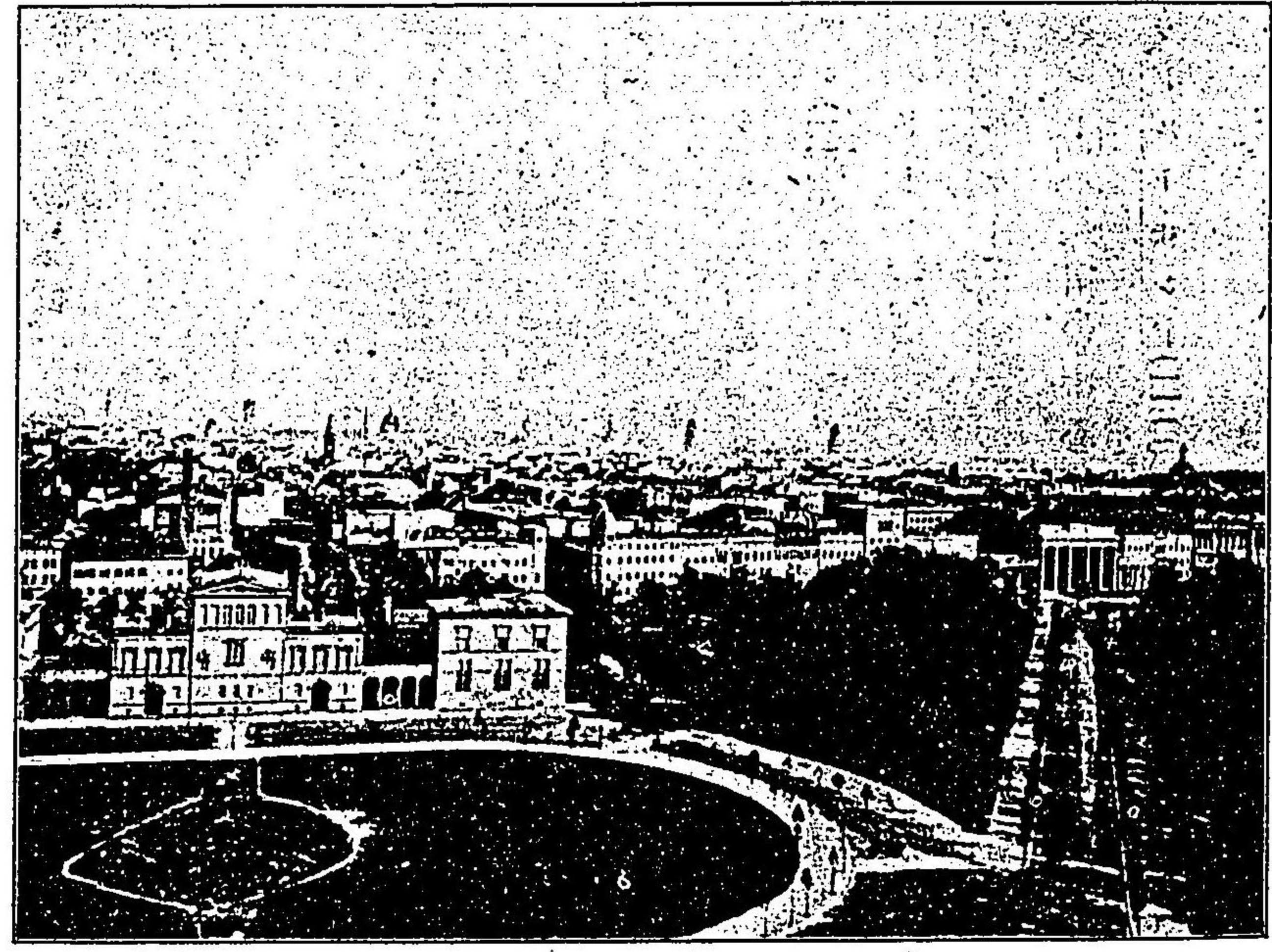
ン河畔の地は葡萄を産し、アンハルト、ブラウンシュワイヒ、サクセン、シレジエンは甜菜の産地としてヨーロッパ第一と稱せらる、牧業は六萬方籽の艸圃を以て一千五六百萬頭の牛、四五百萬頭の馬并に二千五百萬頭の羊を飼養せり、採鑛業は近來長足の進歩を爲して石炭、鐵、銅、鉛、亞鉛を産し、工藝としてはイセルローヌ、レムシャイド、ツイスブルグ、ソリンゲンに金屬器の製作あり、殊にエッセンのクルップ製作場は其名世に知らる、ステッテン、キール、アルトナに造船場あり、サクセンは陶器を作り、エルベルヘルド、キオルンは綿布を織り、クレヘルド、バルメンは絹布を製す、一千八百九十七年の貿易高は輸入に四十八億六千四百六十四萬マルクありて輸出に三十七億八千六百二十四萬あり而して輸入國はイギリス、ロシア、アメリカ合衆國、エステルライヒ、ウシガルス、フランス、オ

四十五

交通

ラシヤ、等にして輸出國はイギリス、エストレルライヒ、ウシヤ、ガルス、アメリカ合衆國、ロシヤ、オランダ、シウイツ、等なり、又輸入品の主要なるものは穀類、生毛、木材、實綿、皮革、珈琲、家畜、石炭、毛絲、等にして輸出品の主要なるものは砂糖、藥品、毛布、鐵器、綿布、石炭、編物、鐵、機械、絹布、染料、等なり而して船舶出入の状況を記述せんに入船に七萬三千五百隻、一千五百六十三萬噸ありて出船に七萬四千隻、一千五百四十一萬噸あり商船には三千六百九十三隻、百五十萬噸ありて鐵路の長は四萬八千六百五十軒に達し内部の航路は二萬七千軒の長を有す、殊にフランス、ブッテルとキールとの間に於ける運河は東北の二海を連絡するに至れり又郵便は三萬五千の局を有し電線の長は十四萬軒に達して其の組織は極めて整備せり

ベルリン



(市街 — リン —)

ベルリン(二六八、〇〇〇)は地味礫角の平野の中にありてエルベ河の支流ルベルに注ぐスプレア河に跨れり、ブランドンブルグ大侯の建設に係る一小都會なりしが近代に至りて迅速の進歩を爲して遂に今日の隆盛を觀るに至れり、街衢は端麗にして道路は廣潤なり、商業工

プレスラウ
キオロン
ハンノベル
フランクフルト

業共に繁昌なるがドイツの帝都、プロイセンの王都たるのみならず世界政治の一大中心たり、プレスラウ(三八、〇〇〇)は工業地なり、マグドブルグ(二一、〇〇〇)は毛布、砂糖を製す、キオン(三二、〇〇〇)はライン河に瀕す、歴史上有名の地にして蒸溜業に従事す、商業も亦盛なり、軍府の一なり、ハンノベル(二一、〇〇〇)は舊同名の王國の都府たり、處にして繁華の地なり、フランクフルトマイン(二二、〇〇〇)は金融上の一大中心たり、
ステッチン(四、〇〇〇)は一の商港を有す、ダンナヒ(三、〇〇〇)は軍府の一なり、アアヘン(三、〇〇〇)はカルロマンニッスの帝國の舊都にして毛布、機械、針類を産す、ナッセルドルフ(二八、〇〇〇)は工藝の中心たり、クレムホルド(二、〇〇〇)は絹布を製す、エルバルヘルト(四、〇〇〇)並にハルメン(三、〇〇〇)は絹布の産地なり、エッセン(九、〇〇〇)はルール煤田の中心にして製鐵に従事す、有名のクルプ會社は此の地にあり、ドルトモンド(二、〇〇〇)は石炭の産地にありて製鐵業盛なり、アルトナ(五、〇〇〇)

ミッペン
ドレスデン
ライプナヒ

は商港の一なり、キール(六、五〇〇)は軍港の一にして造船場あり兵器を製作す、
ミッペン(四一、〇〇〇)はバイエルヌの王都にして、建築、繪畫、等を以て名を知らるるが盛に「ビール」を醸造せり、ドレスデン(三四、〇〇〇)は人口稠密、地味肥沃なるサクセンの首都にしてエルベ河に瀕す、風色に富みて美術上有名なる處なり、ライプナヒ(四〇、〇〇〇)は商業中心の一なり、殊に書籍の出版を以て名を知らる

ハンブルヒ

ニルヌベルグ(三、〇〇〇)は樂器、時計等を製す、デュムニック(二六、〇〇〇)は毛布を産す、スットガルト(二六、〇〇〇)はユルテンベルグの都なり、カルルスルヘ(六、四〇〇)はバーテンの王都にして、マンハイム(一〇、〇〇〇)は煙草を製す、ストラスブルグ(三、五〇〇)はエルサッスの首府にして軍府の一なり、商業盛にして「ビール」の醸造に従事す、
ハンブルブルヒ(六五、〇〇〇)はエルベ河に瀕し河口より一百

て盛にして船舶の出入は一十余萬噸に達し世界第二の貿易港と稱せらる

殖民地

アンメン(五〇〇〇)はエセル河に瀕す船舶の出入は二百五十萬噸に達す
 殖民地はアフリカに八百七十萬の人口を有する凡二百三十五萬方籽ありて太平洋に四十五萬の人口を有する凡二十五萬方籽あり又膠州灣に一千方籽に近き借地あり

地 名	地 積	人 口
アフリカ洲		
トイランド	八、三三〇	一〇〇、〇〇〇
カメルン	四九、三六〇	三五〇、〇〇〇
南西アフリカ	八三、〇九六	二〇〇、〇〇〇
東アフリカ	九四、二一〇	三〇〇、〇〇〇
井ルヘルム帝地	一八、一六五	一一〇、〇〇〇
ピスマルク群嶋	四、七一〇	一八、八〇〇

境 域

オセアニア洲	北サロモン諸嶋	マルシアル及ナボド諸嶋	マリアナ群島	カロリナ群島
	二二、二五五	四、一五	一、一四〇	一、四五〇
	八、九〇〇	一、六〇〇	一〇、一七三	三、五八五

● エステルライヒウングアルヌ君主國

エステルライヒウングアルヌ (Oesterreich-Ungarn) は中部ヨーロッパに於ける強國の一にして境界は南東のアドリア海に瀕する部分を除くの外、其の他は悉陸地にして列國の間に介在す、地積は六十二萬五千五百五十七方籽に達するも地貌は佳良ならずして一國を組成するに足るの地理的單一性は全之を缺けり、國土の主要部はドナウ河の中流に當り僅にアドリア海に瀕するも外海と航通し得るは唯トリエスト、ヒウメの二港あるのみ

山脈は何れも外邊にあるが配布は均一ならず、西方に於けるアルプ山脈並に東方に横はるカルパット、後シルバニア等の山脈は顯著なるも北西より北に亘れる諸脈は概して高丘を爲すに過ぎず、南部に於ける隆起帯は平原を距るに従ひて其の高度を増加せり、又此等の山脈に圍繞せらるる内部の平野は起伏に乏しく地味肥沃なり而してドナウ河は右岸にドゥベ、サエを受け左岸よりタイニスを容れて内部の平原を潤せり

地形の極めて錯綜せるエステルライヒ、ウングアルヌをして單純なる氣候を有せしむる能はざるは勿論にして唯一の共通性は到る處寒暑の差の大なるの一事なり、殊にウングアルヌの平野にありては氣温の昇降激しく四季の差別極めて判然たり、アルプ、カルパット等の山地又はクラインク

ロアシエンの高地に於ては氣温の平均は下降するも寒暖の差は減縮して變化少なし而してアドリア海沿岸に於ては地中海的氣候を有し寒烈風ボルラの吹き荒まざるときは冬季と雖温暖を覺ゆ、夏季は暑氣強く殊にシロコ風の吹き來るときは炎熱灼くが如し又降雨の最多きは山地の高處と沿海の地方なりとす

人口は四千一百三十八萬ありて一方料に付きては六十六人と成るも各地方の人口の疎密に就きては甚しき不平均あり又種族にはドイツ人(二〇六〇)、ウングアルヌ人(七四三)、ナーク人(七三八)、ポーレン人、ルセーヌ人、スラブ人、ルマニエ人等あり、宗教に關しても十數派の存在するを見るべし、エステルライヒ、ウングアルヌ君主國はエステルライヒ帝國とウングアルヌ王國との二國より成れり、君主は帝冠と

王冠との二冠を戴きて聯合國に君臨するも二國に共通なる立法權は外務、軍務、財務并にボスニエン、ヘルツェゴ、井ナに關するものに限りて井エンのライシットとブダペストのライシダクとより撰出せられたる六十六人の代議員之を司れり而してエステルライヒの立法權はヘルレンハウスとアプゲオールドチテンハウスとの二院に屬しウングアルヌの立法權はマグナト院と代議院とに屬せり、行政府の一は井エンにありて一はブダペストにあり共に其の議會に對して責任を有せり

州名	地積	人口	一方秤に付
下エステルライヒ	一九八五三	二六六一七九九	一三四
上エステルライヒ	二一九九四	七八五八三一	六五
サルツブルグ	七二六二	一七三五一〇	二四

州名	地積	人口	一方秤に付
スタイエールマルク	二二二四四九	二二八二七〇八	五七
カルステン	一〇三三三	三六一〇〇八	三五
クライン	九六六五	四九、八九五八	五〇
トリエント及屬地	九六	一五、七四六六	
ゴリツ及びグラヂスカ	二九二七	二二、〇三〇八	七五
イストリエン	四九五二	三二、七六一〇	六四
チロル	二六六九〇	八二、二六九六	三〇
ホルルベルグ	二六一〇	一一、六〇七三	四五
バーメン	五一九六七	五八、四三〇九四	一一二
メーレン	二二二三一	二二、七六八七〇	一〇二
シレツェン	五一五三	六〇、五六四九	一一七
ガリチエン	七、八五三二	六六〇、七八一六	八四
ブコ井ナ	一〇、四五六	六四、六五九二	六二
ダルマチエン	一一、八六三	五二、七四二六	四二
合計(甲)	三〇〇、三三二	二三八九、五四一三	七九

兵 備
生 業

全 君 主 國	在 外 兵 員			合 計 (乙)
	ウ ン ガ ル ヌ	ヒ ウ メ 及 屬 地	ス ラ ボ ニ エ ン ク ロ ア シ エ ン	
六二、五五七	一八、二八〇	二〇	四、二五〇	三三、五三四
四一、三八、四九五六	一五、三、一五二七	三、〇三三	二、一〇、一九二七	一七、四六、三七九一
				二、五七五二
				五
				五
				五

五十六

陸軍は平時に三十六萬人を有するが戦時には百八十五萬人を有すべし又海軍は十三萬三千噸を有せり
 エステルライヒ及ウングアルヌの分立は政治上に止まらずして經濟上にも亦出現せり即ウングアルヌは農業國として立ちエステルライヒは工業國として存す
 ウングアルヌの平野は八億石の穀類を産し、二百萬頭の馬

交 通

五百萬頭の牛、一千五百萬頭の羊、四百五十萬頭の豚を飼養せり、又葡萄園は五千萬圓の生産力を有し、森林は薪炭、木材を産して優に國內の需要を充たすと云ふ而してベーメンは鑛産に富み殊にエルツゲビルゲ附近は石炭に豊なるを以て各種の製造工藝は發達して工業上の一大中心と成れり、就中、玻璃器の製造を以て名を知らる、此の外、エステルライヒの各地に工藝の盛なる處あり
 貿易は輸入に七億五千五百萬、フロリンありて輸出に七億六千六百萬、フロリンあり而して輸入品には實綿、穀類、生毛、石炭、珈琲、煙草等ありて輸出品には木材、砂糖、畜類、鶏卵、穀類、石炭等あり
 ロイド商船會社は本社をトリエストに置き、海路の航業を專にし、ドナウ河汽船會社はドナウ河の航路に當れる

五十七

が船舶の總數は二千五百隻、二十四萬五千噸なり而して鐵道はエステルライヒに一萬七千六百六十六籽ありてウンガルヌに一萬五千八百五十七籽あれば合計は三萬二千九百二十三籽と成るなり又郵便は凡一萬四千局ありて電信線はエステルライヒの三萬二千六百七十二籽とウンガルヌの三萬一千三百二籽となり

エ井ン

井エン(一三六,〇〇〇)はエステルライヒ帝國の首都なるがアルプ山脈の末端、海拔百四十六米突の地にありて遙にカルパツト山脈を望み、ドナウ河に瀕す、ドイツ人、ウンガルヌ人、スラブ人の相隣接せるの地にあるを以て住人の四分の一はウンガルヌ人及びスラブ人なり、中央政府の所在地として市街は頗る賑賑なり、宮殿寺院多く建築には觀るに足るものあり、工藝の中心としては飾器、縫箔、磁器等を製す、實に世

ブラグ

トリエスト



(井エンシ—あいらべふらすいあ)

界屈指の都會たるに恥ぢず、ブラグ(三〇,〇〇〇)は海拔三百米突の地にありて、モルダウ河に沿ふ、ペーメンの首府にして綿布、羅紗、玻璃器等を製す、トリエスト(一五,〇〇〇)は帝國第一の商港なり、アドリア海に瀕してカルストの山麓にあり、住民にはイ

タリア人甚多し

ブリッセン(九四〇〇〇)はメーレンの首府なるが絹布燐寸の産あり、ジラッ(二二〇〇〇)はスタイニェルマルクの首府にして冶金業に従事す、レムベルグ(二三〇〇〇〇)はガリチエンの首府にして麻布を製す

ブダペスト(六二一、〇〇〇)はウングアルヌの王都にしてブダとペストとを併稱したるものなるがドナウ河は其の間を流る、ペストは後ライタ部の政府并に國會の所在地にして商業工業の盛なる、王國第一と稱せられ、ブダはマシアル人の堅城と爲す所なり

セゲデン(六九、〇〇〇)はタイッス河に瀕す、純然たるマツアル市街にして商業盛なり、マリアテレオオヘル(七三、〇〇〇)は農産物の集散地なり

シロイツ國

シロイツ(Schweize)はヨーロッパの中部に於ける小國にして

境域

ブダペスト

山岳

て、地積は四萬一千三百四十六方呎に過ぎず

シロイツは純然たる陸國なるが山岳は土地の三分の二を占む、南にアルプ山脈あり、北西と北とにジラ山脈ありて此の二山脈とレマン湖及コンスタンツ湖との間にシロイツの平原あり、アルプ山脈は南の斜面に於ては斷崖絶壁多く北面の傾斜は少しく緩慢なり、中央のゴタルド山彙より二縦谷及び三横谷の發するあるもモンブラン山彙は僅に其の北端をシロイツに觸るるに過ぎず、ローヌ、アアル、ライン、テッシン、等の河流は概してサントゴタルド山彙より發しドナウの支流たるインヌ河はシロイツの東部を貫流せり、沼湖は北にコンスタンツ、ツォーリッヒ、西にノイシッテル、レマン、南にマギオレ、コモ、中部にズグ、ルツェルヌ等あり又高山の頂には積雪あり、氷河あり、アレツヒの氷河はヨーロッパ第一に

氷河

河流

沼湖

氣候

してモンテロザの氷河も亦廣大なりとす、同じ海拔の地に就きて谿谷は臺地より西部は東部より氣溫稍高くシツラ地方は寒氣強くレマン湖地方は溫和なり

住民

住民は二百九十二萬人なるが、其の内、二百八萬はドイツ

教育

語、六十三萬はフランス語、十六萬はイタリア語、四萬はロマ

政治

ンシ語を用ふ、教育は甚盛にして七千の學校は四十二萬の生徒に普通の教育を與へ、ツリーヒのポリテクニウムは天下無雙と稱せらる、バゼル、ツリーヒ、ベルヌ、シッチェン、ラウザン

山

ヌ、ノイシテルは大學校を有す、其の他、二十五ヶ處の大圖書館あり、一千六百餘ヶ處の學校圖書館又は通俗圖書館あり

治

シツイツは二十五、カントンより成れる合衆共和國にして中央政府はベルヌにあり、聯邦會議は國民院と聯邦院との二院より成りて共和國の政權を掌握す、行政權は聯邦議

生業

會の推撰に係る聯邦行政委員に屬し大統領は委員中より毎年互撰せらる

交通

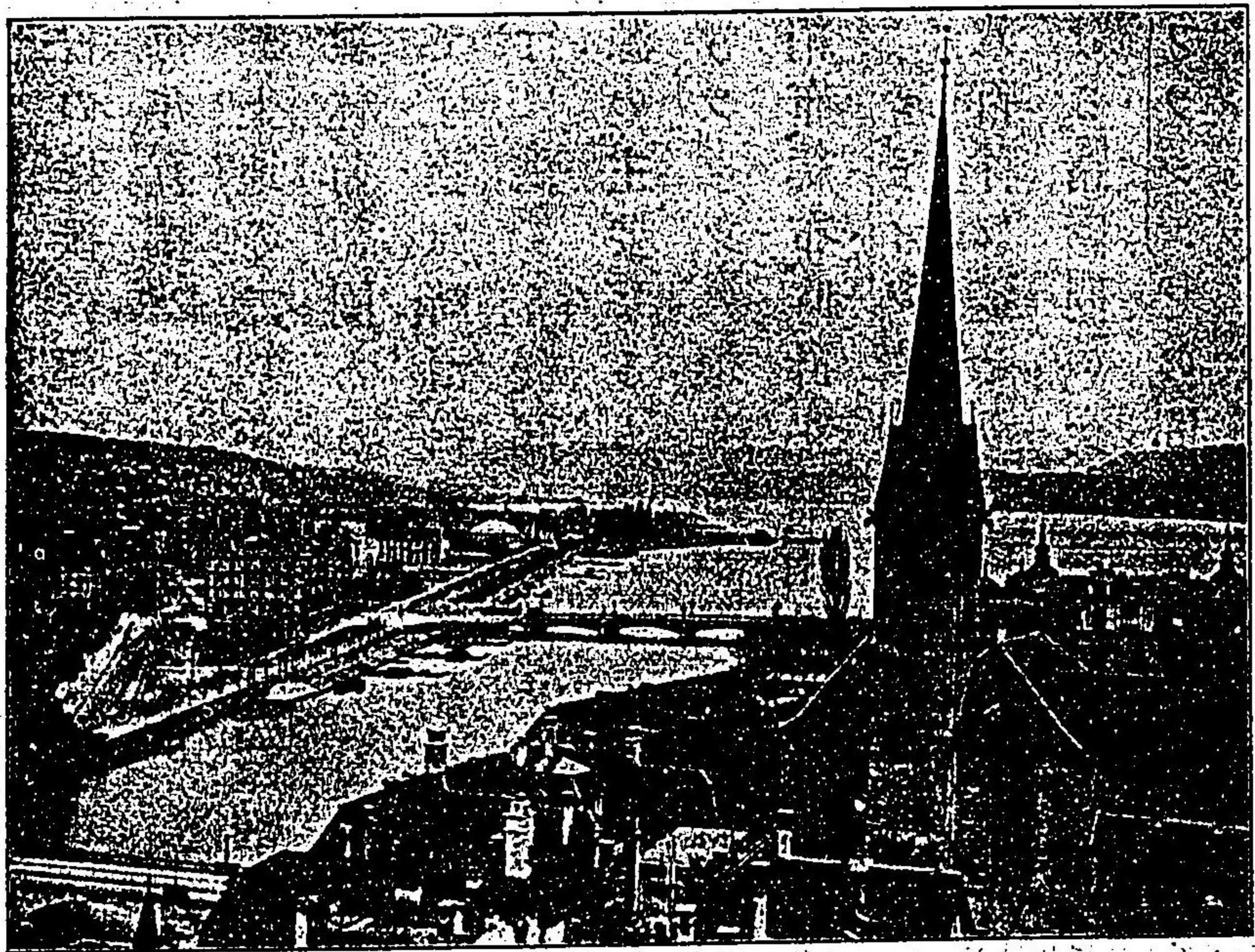
土地の二割三分は畑地、三割二分は牧地にしての其他に森林、葡萄園あるも、二割八分は純然たる不生産地なり、而して、工藝は時計、飾具、綿布、絹布、稗紐、笹縁等を製作す又遊覽旅行に供する機關の整備せるは實に世界第一にして當國富源の主要なるものの一たり、貿易の全計は十八億六千餘萬「フランク」に達するが穀類、生絲、畜類、毛布、石炭等を輸入して絹布、綿布、時計、牛酪、絹糸等を輸出す

シツイツが山間の地たるに拘らず、道路は開け鐵路は三千八百軒に達せり、就中ゴタルドの墜道はアルプの南北に於ける諸國間の交通を開き、シムプロンの墜道はイタリアとフランスとの間に通路を開くべし而してアルルベルグの

ベルヌ

バゼル

ツリーツヒ



(街市ヒッリ - ツ)

隧道は南東ヨーロッパに對して一の門戸を
 シュワイツに與へたり
 ベルヌ(五、四〇〇)は聯
 邦の首府なるが飾具
 を製す、バゼル(九、八〇
 〇)はライン河に瀕す
 市街は廣大ならざる
 も生産力に富めるを
 以て世界屈指の都會
 たり、貿易に従事し、又
 絹布を製す、ツリーツヒ
 (二五、〇〇〇)は同名の湖

に瀕す大學校の所在地として名あるのみならず又絹布を
 製す、ツリーツヒ(八、二〇〇)は時計飾具を製す、又大學校の所在
 地として著名なり

西部

◎オランダ王國

オランダ(Nederland)は西部ヨーロッパの一小國にして、地積
 は三萬三千方呎なり、土地は平低にして最高處と雖、海拔は二
 百四十米突に過ぎずして、ジラランドの島地、ブーデルシー
 の沿岸には海面より低き地あり、又國の東部一帯には沼地
 多く荒蕪の地ありて、ドイツとオランダとの天然の境界を
 爲せり、ライン、マアス、イッセルの下流が國內を貫流するのみ
 ならず、運河の開掘頗多し、氣温は甚しく低下することなき
 も不同にして變化し易し、濃霧屢起り降雨も亦少なからず、

境域

住民

人口は五百萬余にして一方科に付きては百五十二人なり、教育は普及せずして下等社會には無知の者多きも之に反して中等社會以上は教育の恩澤に浴せり、

政治

オランダは立憲代議君主國にして立法權は上下の二院に屬し地方議會の權限は甚大なり、兵備は陸兵に二萬九千人ありて兵艦に十萬四千噸あり

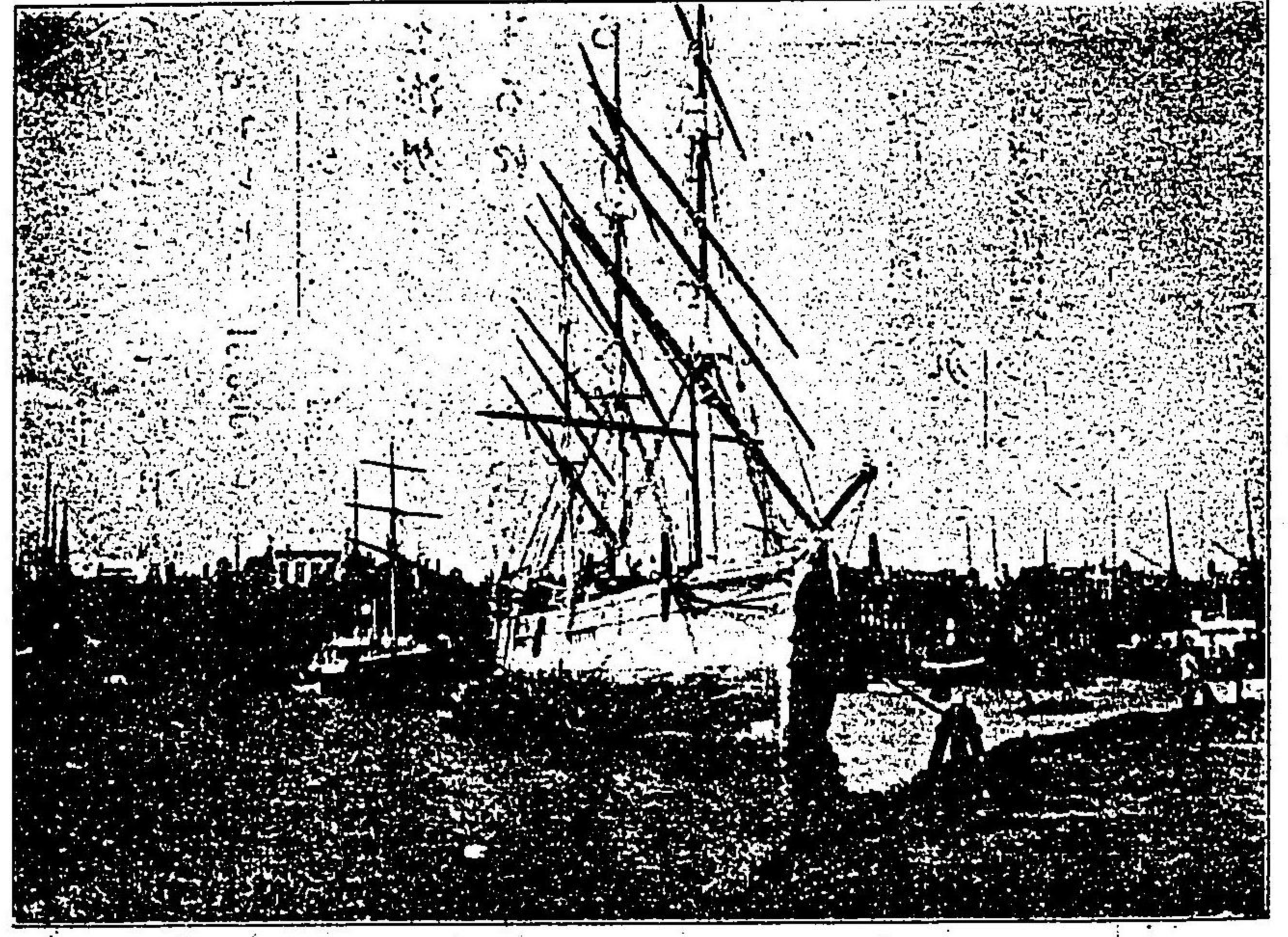
生業

農業は甚盛なるが殊に麻類、煙草等を栽培す、牧畜は主として牛を飼ひ、漁業は鯨鱈を與へ、花園は珍花、奇卉を與ふ、而して工藝は麻布、羅紗、天鵞絨、煙管等を製す、商業は内外共に頗る盛なるが貿易は輸入に十四億六千萬、フロリンありて輸出に十一億、フロリンあり、鐵路は二千七百科に過ぎざるが船舶は八十四萬噸に達せり

都會

ハーアグ(二〇〇〇〇)は王國の首都なるが海岸並にシヘニン

歴史



(アムステルダム—河港)

ゲンを距ること凡そ一里の處に建設せられたる美麗の都會なり、ロッテルダム(二〇〇〇〇)はマアス河に瀕す、船舶の碇繋に便にして王國第一の商港たり、盛に殖民地の貨物を輸入す、アムステルダム(五〇〇〇〇)はズーデルシーの南西隅に於ける一小灣に瀕し、アムステル河に接す、運

殖民地

河多く交通の便を備ふる一大商港なるが、市街は殷富にして金融上の一大中心なり、

ユトレヒト(10000)は大學校の所在地にして羅紗天鵝絨を製す
オランダは強大國の間に介在せる小國なれば夙に富源を海外に求むることと努力して遂に廣大なる殖民地を有するに至りしが戰亂の爲め大に其の境域を縮小せられたるにも拘らず現に二百余萬方呎の地積と三千五百萬の人口とを有せり

領地	地積	人口	方呎二付
東印度諸領地 外部領土 マバ、マツラ	一三、一五〇九	二六二、五〇〇	一九九
西印度諸領地 クラツ スリナン	一七八、三九五五 一一三〇 一一九一〇〇	九〇八、一〇〇〇 四、九五九九 七、九〇〇〇	五 四 〇六
合計	二〇四、五六九四	三五三、二四六〇	一七

◎ルクセンブルク大侯國

ルクセンブルグ(Luxemburg)は舊ドイツ聯邦の一部たりしが一千八百六十七年以來中立國と成れり、地積は凡そ二千六百萬方呎にして、人口は二十一萬余なるが概舊教に屬しドイツ語を用ふ

●ベルジック王國

ベルジック(Belgique)は西部ヨーロッパの一小國にして地積は二萬九千四百六十万方呎なり、海岸の附近には海面より低き耕地の存するあるも東并に南東に趣くに從ひて土地は漸次に隆起しアルデンヌ臺地の最高處にありては海拔は六百七十五米突に達せり、又砂丘の存する沿海の地には數百年來、多少の變遷ありてブリッージュ、エクリーズ等の港灣は砂礫の閉塞する所と成りて現時は海岸を距る數里の地にあり、河流に就きては其の全部の當國に屬するものなり、

住民

ロズ河は丘陵の地を流れ、エスコト河は平野を潤すも二流共に水源をフランスに發し、オランダに至りて海に注けり、氣候に就きては西部は海候にして氣温低からず濕氣多し、東部は陸候にして寒氣烈しく濕氣甚少なり

人口は凡そ六百五十九萬なれば一方科に對する人口は二百二十四人なり、而して一千八百九十年の調査に依れば六百七萬の住民中にて二百四十八萬人はフランス語のみを用ひ二百七十四萬人はフラマン語のみを用ひ三萬三千余人はドイツ語のみを使ふと云ふ、教育に就きては初等教育はは強制的なり又都會の地には男女の中等學校あり、四ヶ處に大學校あり、此の外に美術大學校、音樂學校等あり

政治

ベルジック國は立憲代議君主國にして皇帝は平時の五萬二千人、戰時の十五萬人より成る軍隊の元帥たり、立法權は

生業

元老代議の二院に委ねらるが殊に記し置くべきは撰舉權の普通一般なると資力又は智力に依りて複票權を享有することなり

農業は亞麻、煙草、ホッフ、穀類等を産し、花園には裝飾的植物の栽培あり、リエージュ、シラル、ロワ、モンスは石炭を採掘し、サンブル、ムーズの流域には産鐵の地あり、又工藝には製鐵、鑄鐵及び兵器、羅紗、毛布等の製造あり、貿易は輸入に十七億七千六百萬、フランシクありて輸出に十四億六千八百萬、フランシクあるが輸出品の主要なるものは石炭、玻璃器、鐵、穀類、革、機械、麻糸、砂糖等あり、ベルジックは交通機關の完備せる點に就きては世界第一と稱せらる、鐵路と云ひ航路と云ひ何も十分に發達して内部に於ける工藝の中心と邊境に於ける各地との間を連絡せり、されは國域の小なるに拘らず鐵路は四

交通



(所引取品商 — ルセクッリッ)

千四百七十二粒に達せり

ブリクセル(一〇、〇〇〇)は王國の首都にして商業工業共に繁盛なるが殊に印刷業、樂器の製造、裝飾品の製作等を以て著しとす而して此の地の近傍には數多の小市街あれば之を合併すれば人口は四十萬以上に達すべし、アンペール

(二七、〇〇〇)はエスコー河に瀕す、全國第一の軍府にして附近には堅固の砲壘を備ふ、ヨーロッパ屈指の良港にして取引は甚だ盛なるが珈琲、米、砂糖、茶、香料、穀類等を輸入して麻布、羅紗、兵器、機械等を輸出せり、又工藝としては造船、製糖、絹布の製造、飾具の製作等あり

ガン(一六、〇〇〇)はエスコー及ゴリース兩河の合流の地にあり往昔の盛大を見ざるも亦盛に綿布、麻布、織物等の製造に従事す、リエージュ(一七、〇〇〇)は織物、兵器等を製作す

● フランス共和國

境域

山岳

フランス共和國 (République Française) は西部ヨーロッパの大國にして不正六角の形狀を有するが地積は五十三萬六千四百余方粒に達せり
アルプ山系、ピレネー山脈の如き顯著なる隆起帯は邊境

河 流

七十四
 にあり内部は概平坦にして豊饒なる低地に富めり
 ロワール、ローヌ、セーヌ、ガロンヌを以て四大河となす、就
 中セーヌ河は水量の増減著しからずして航行上の便益を
 與ふること甚だ大なり

河 名	水 源	河 長	平水量	減水量	増水量	航行し得べき部分
ムーズ	ラングル臺地	九五〇	一〇〇	二五	七〇〇	五七四
セーヌ	コートドール	七七六	三〇〇	七五	二五〇〇	五六五
ロワール	ピバレー山	一〇〇八	三七五	一〇〇	八〇〇〇	八二五
ガロンヌ	ピレネー山脈	六五〇	七〇〇	四〇	二二〇〇	四七一
ローヌ	アルプ山脈	八二二	二二〇〇	五五〇	一五〇〇〇	五三一

氣候
 氣温は中和を得て健康に適せり、北西にありては海候にして變化少なく濕潤なり、中部殊に北東部に於ては陸候に

住 民

七十五
 して寒暑の差強し、南西は稍溫和なるも南東は炎熱を覺ゆ
 雨量は最多の處にて百五十糎前後なるが、マンシ海沿岸の
 地并に中央の山彙地方にありては百五十糎以下百糎以上
 なり、而して南部に於ては夏季に「シロコ」の熱風來り冬季に
 寒風「ミストラル」の吹き荒むことあり
 人口は三千八百五十一萬にして一方糎に付きては平均
 七十二人なるが配付は一様ならずして海岸、河岸に於ける
 地には住人稠密なるも山地、臺地にありては稍稀薄なり

年 次	市 街 民	村 落 民
一八八六	三五、九五	六四、〇五
一八七六	三二、四四	六七、五六
一八六六	三〇、五〇	六九、五〇
一八五六	二七、三一	七二、六九
一八四六	二四、四二	七五、五八

又人口の増殖は極めて緩慢にして三百五十六年を経ざ

れば一倍せざる割合なり

(部内殿宮—ユイサルベ)
 宗教上に於ては、カソリック派に三千六百五十萬ありて新教に屬するものは六七十萬人、ジッデア教を信するものは凡そ五萬人なり、又教育上にありては高等、中等、初等の別ありて各種の機關を具備せるが全國を十六大學區に分ち各區



政治

に總理を置きて之を監督せしむ

政體は一般投票を基礎とする民政共和國にして立法權は元老院と代議院とに依りて實行せられ行政權は大統領に委ねられ内閣は内務、法務、外務、財務、陸軍、海軍、教育、美術、工務、商務、郵便、電信、農務、殖民の十一省の長官より成れり

兵備

フランスは兵備上、世界屈指の強國なり、陸軍には常備軍は士官二萬八千余人、下士卒五十萬五千余人より成りて別に二萬五千余の憲兵あり、戰時に於ては現役、豫備を合はせて二百萬人、之に後備の一百八十萬を加ふれば三百八十萬人と成るなり而して兵艦は四百五十七隻、七十五萬噸にして帶甲艦中には戰艦三十四隻、巡航艦十三隻、海防艦七隻あり又軍人軍屬の總數は四萬四千に達せり

財政

重税を負擔するの點に於ては世界第一の國なるが一千

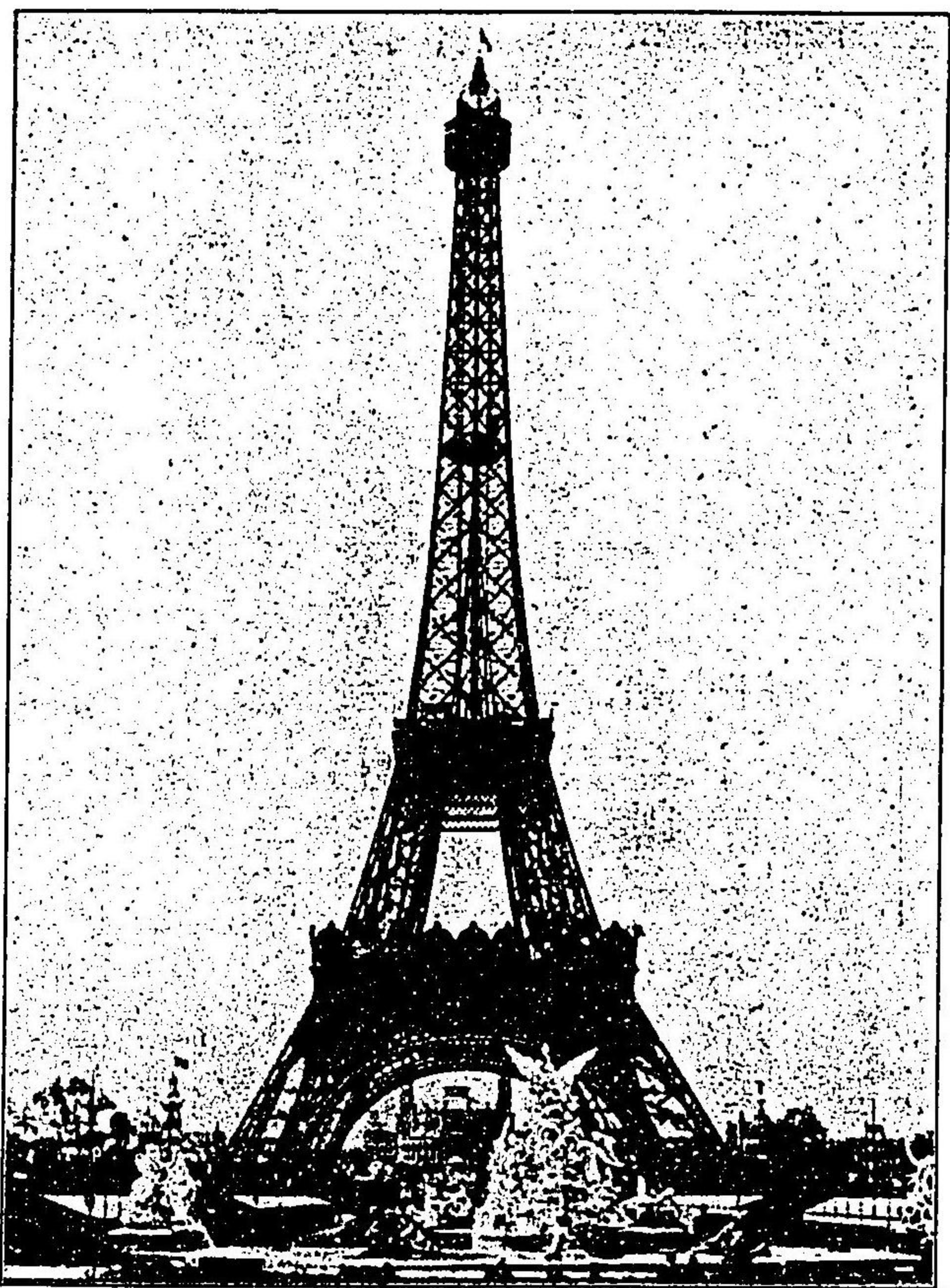
八百九十八年度の豫算は歳出三十四億三千四百四十二万、歳入三十四億三千四百一十一万、フランクなり。而して國債、恩給等の爲に支出する金額は凡そ十二億五千五百萬フランクにして國債の高は凡そ三百十億フランクなり。總地積より市街、河流、不毛の地等を扣除すれば殘餘の四十四萬方杆は生産地にして之を區別すれば耕地(二五萬)葡萄園(二萬)、森林(九萬)、牧地(八萬)等を得るなり。而して農産物に穀類、馬鈴薯、甜菜、煙草、葡萄、橄欖等あり。畜産に馬、驢馬、牛、羊、豚等あり。其の他に家兔、家禽、蠶、蜜蜂等あり。鑛業は甚盛なりと云ふを得ざるも石炭、鐵、石材等を産し、紡織業は糸類、毛布、絹布、敷物等を製し、化學工、藝は香水、石鹼、紙類、油類等を與ふ。此の外、陶磁器、玻璃器、時計、パリイ雜貨等の製出あり。貿易は五十一億三千七百萬フランクの輸入と四十八億三百萬フラン

クの輸出ありて通過には五億九千萬フランクあり。又貿易品の主要なるものは輸入に生毛、葡萄酒、生糸、穀類、畜類、石炭、木材等ありて輸出に絹布、毛布、葡萄酒、革、パリイ雜貨、生毛、絹布等あり。而して商港の主なるものはマルセイユ、ルアーブル、ポルドー等にして入船に二萬八千二百隻、一千四百七十七萬噸ありて出船に二萬八千二百五十隻、一千五百三十三萬噸ありたり。

鐵路に四萬一千五百杆ありて、航河に四千八百杆、運河に五千餘杆あり。而して船舶に帆船の三十九萬噸と汽船の五十萬噸あり。郵便局は九千三百余ヶ所に設けられ、電信線は十萬四千余杆に達せり。

パリイ(二五三,000)はフランスの首都なるが人口、工業、富力等に就きてはロンドンに次ける大都會にして文藝、學術

政治、等に就ては世界屈指の大中心なり、而して建築の宏大



(塔ルエイエーリパ)

にルーブル等あり、大劇場にオペラ等あり、其の他の建造物

あり、宮殿
テオン等
ーム、バン
ートルダ
寺院にノ
稱せらる、
界第一と
る實に世
潤清潔な
街衢の廣
美麗なる、

リイユ

ポルドー

リヨン

マルセイユ

は枚舉に遑あらず又本市は工業地としてパリ雜貨、機械、
衣服、飾具、書籍、家具、等を製作するのみならず一大軍府とし
ては周邊を胸壁にて纏ひ附近を十六ヶ所の砲壘にて防衛
せり、リイユ(二二、〇〇〇)は軍府の一なるが工藝の一大中心と
しては麻布、レース、砂糖、機械、等を製す、ナント(一一、〇〇〇)はセ
ンナゼール(一一、〇〇〇)と相待ちて盛に商業及造船業に、從事
す、ポルドー(二五、〇〇〇)はフランス第四の大都會にして第三
の商港なり葡萄酒、銘酒を輸出す、リヨン(四六、〇〇〇)はフラン
ス第二の大都會にして盛に工業商業を營めるが殊に絹業
を以て有名なり又一大軍府として中部の巨鎮たり、センテ
ナエンヌ(一四、〇〇〇)は産炭地にありて冶金業上、當國第一の
中心なり又織物を製す、マルセイユ(四四、〇〇〇)はフランス第
三の大都會にして地中海第一の商港なり、穀類を輸入し織

ツローン

物、葡萄酒、果物を輸出す又造船に従事し石鹼を製す、ツローン(九、五〇〇〇)はフランス第一の軍港にして地中海艦隊の根據地たり有名の造船所あり

ベルサイユ(五、五〇〇)は壯觀の宮殿庭園を以て名あり、ルーベール(二、六〇〇)は麻布敷物を製す、レンヌ(二、〇〇〇)は歴史上著名の地なり毛布を製し葡萄酒を賣買す、ルーアン(二、〇〇〇)は織物、砂糖、陶器を産す又第六の商港として名あり、ルーブル(二、〇〇〇)はセーヌの河口にあり全國第二の貿易港なるが殊にアメリカと取引を爲す、ツールーズ(五、〇〇〇)は軍府の一なるが文藝又は商業の中心として名を知らる

殖民地

殖民事業は前世紀の盛大を見る能はざるも三百萬方呎の地積と四千六百萬の住民とを有す

地名	地積	人口	地名	地積	人口
アルジェリア	七九、七七七〇 ^{方呎}	四四七、九〇〇〇 ^人	グアドループ	一六〇三 ^{方呎}	一六、七〇九 ^人
チュニジア	九、九六〇〇	一八九六〇〇〇	マルチニック	九八八	一八、九五九 ^人

西アフリカ	四五七、〇〇〇〇	二、九六五〇	ガイアナ	七八九〇〇	二、九六五〇
ダホメイ	?	六〇、〇〇〇	アメリカ部	八、一九九三	四一、六〇〇〇
コンゴ	?	五〇〇、〇〇〇	新カレドニア	一、九八二三	六、二七五二
ウバンギ	?	二、三三七〇	ワリス	九六	五〇〇〇
オボック	?	二、三三七〇	フチャナリアロヒ	一五九	五〇〇〇
アフリカ部	一六五、七九〇〇	二、四一九三	其他	四一〇八	二、六九五〇
印度	五〇九	二八六八八三	南洋部	二、四一九三	九四七〇〇
印度支那	八九、五四一〇	二、四五四、二〇〇〇	アマガスカル	五九、一九六七	三、五〇、〇〇〇
アツア部	八九、五九二〇	二、四八二、九〇〇〇	レウニオン	一九八〇	一、六七八四七
サンビエール	二三五	五九二九	其他	六五五九	七、〇〇〇〇
ミクロン	二三五	五九二九	印度洋部	五九、九四〇六	三、七四、八〇〇〇
合計	?	四五七、〇〇〇〇	合計	?	四五七、〇〇〇〇

◎モナコ公國

モナコ公國は二十一方呎の小國にして一萬五千餘の住人を有す、風景の壯麗優雅なる氣候の温暖爽快なる風に世人の稱嘆する所なり

境域

●イギリス王國

ブリタニア群島は大西洋中にありてヨーロッパの北西にあるが大ブリテンとアイアランドとの二大島并に數多の島嶼より成りて之にオークネイ諸島へブクツ諸島等を加ふれば地積は三十一萬四千六百二十八方呎を有すべし海岸は概して屈曲に富めるが大西洋はアイアランド島にドチガル、ガルエイ等の諸灣を爲し、イングランドにプリートル灣を爲せり、北海は大ブリテン島の東岸に於てムライ、ホース、ワッソ等の諸灣并にホンバー、テームスの河灣を爲せり、又岬崎の著しきものはダンカンスピー、ランズェンド、ホーアランド等なりとす

山岳

大ブリテン島にありてはグランピアン山脈は南西より北東に趣きてスコットランドをラウンドとハイランドとに

河流

分ち、エールスにはカンブリアン山脈あるもイングランドの南東部は平低にして多少の丘陵の存するあるのみ、アイアランド島の中部は平低にして南西部は最高、高く北部と東部は之れに次けり

河流は短少なるも中流以下は廣濶にして航行に適するもの多し、北海に注ぐものはホース、ナード、ダイヌ、ハンバー、テームス、等にして大西洋並ニアイアランド海に注ぐものはセバーヌ、クライド、シンノン、等なりとす又沼湖に就きてはスコットランドに於けるものは稍著しくチッス湖の如きはカレドニアンと稱する航河を爲すを以て名あり

氣候

氣候は概温和にして變化少なく殊に濕潤を覺ゆ而して冬季の寒氣はへブリッヅ諸島よりは反てテームス河畔に於て強し又群島には曇天多く濃霧屢起りて咫尺を辨ずること

住民

と能はざることあり、殊にロンドン、マンチヌスター、バーミング
 ハム等の如き市街の地には黄霧の爲に空氣の流通を妨げ
 らるることあり、降雨は西部、南西部並に山地に多く降雪は
 海濱に稀にして積雪を見るは山岳地方に限れり
 大ブリテン、アイアerland聯合王國の人口は四千十九
 萬なるが之を三部に區分すればイングランド及エールス
 の三千一百九十九萬人、スコットランドの四百二十五萬人、ア
 イアerlandの四百五十四萬人を得るなり且又一方料に
 付きての人口は百二十七人にして八十五年乃至九十年を
 經る毎に二倍する割合なり而して外國に移住するもの
 數は毎年凡そ二十萬人なるが一千八百十五年より九十七年
 までの往住者は凡そ一千四百七十一萬人に達せり而して外
 國より來住するもの數は毎年凡そ十五萬人なりと云ふ

言語

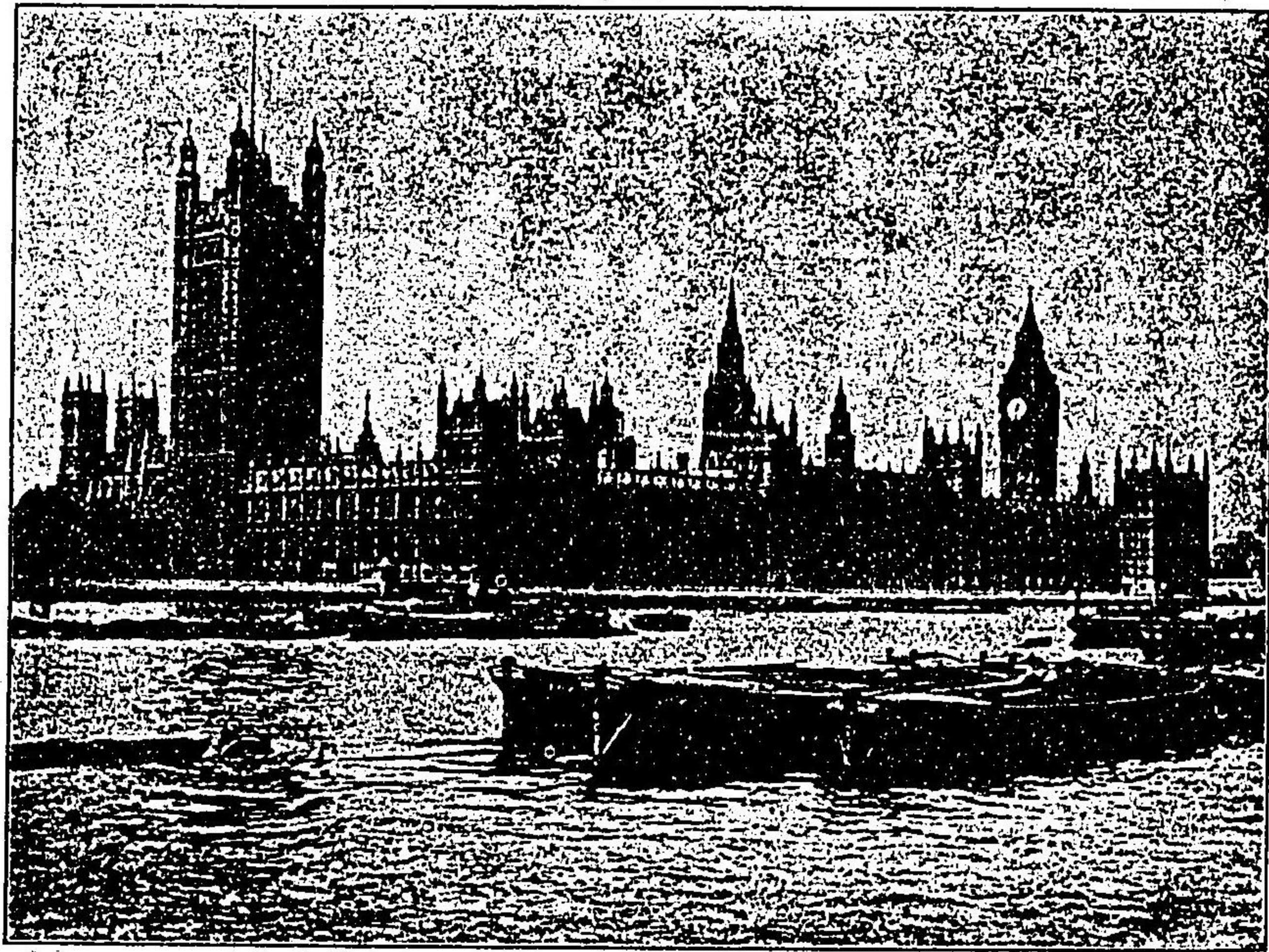
國人の多數はイギリス語を用ふれども百八十五萬人は
 セルト語を用ふ又宗教に就きては各派の新教信者を合は
 せば三千六百萬以上に達し殘餘はローマンカソリック教に
 屬するが主としてアイアerlandに居住せり
 一千八百九十一年の調査に依りて住民を職業別にすれば

住民職業別

合計	住民職業別						イギリス	スコットランド	アイアerland
	十歳未満	無職	使役	庶業	工商業	農業漁業			
二九〇、二五二五	六九四、八六六八	九一五、四三七三	一九〇、〇三二八	二九六、一三三二	七三三、六三四四	一三三、六九四五	二四、九一二四	九三、六七五九	
四〇二、五六四七		二二四、八六九五	二〇三、一五三三	一一二、三三一九	一〇三、二四〇四	一三九、九七三三	一八、〇九五二	八三、一七三三	
四七〇、四七五〇		二五五、九〇二二	二五五、一四四四	二二、四二四三	六五、六四一〇	一三、九七三三			

教育は盛にして全國に普及せるが殊にスコットランドを以て然りとす、從て教育的機關は階級相應なるものを具備して高等教育は八ヶ處の大學を有せり、就中カンブリッジ、オクスホード、ロンドン、エジンバラ、グラスゴウ、ダブリン、等を以て著名なりとす

政體は立憲君主國にして君主は大ブリテン・アイアランド聯合王國 (United Kingdom of Great Britain and Ireland) 皇帝と稱し信教の擁護主を兼ね而して殖民地に施行すべき律令に對しては全印度皇帝と自署す、法律の制定は國會の議決に依り皇帝は之に對して認下權を有せり、國會は上下の二院より成れるが貴族院は五百四十三人の議員を有し衆議院は六百七十人の議員を有せり、内閣は首相、國璽、國庫、王璽、首班、財政、内務、外務、拓殖務、軍務、印度、海軍、商務、農務、工



(堂事議會國—ンドンロ)

務の諸卿并にアイアランド及スコットランドの行政長官、等より成れり又司法に關しては上等法院、控訴院、高等法庭、等あり、兵備は陸軍に平時の士官一萬七百余、人、下士卒二十四萬人ありて戰時の士官二萬六千人、兵卒七十二萬人あり、海軍は世界第一なるが新式兵艦に

財政

生業

三百十二隻、百七十萬余噸ありて巨砲一千九百門、水雷發射管九百五十個、乘組七萬五千人を備へ舊式兵艦に二百十三隻、四十八萬噸ありて巨砲一千門、水雷發射管百六十四個、乘組三萬四千余人を備ふ、此等の兵艦中にて甲鐵を帶ぶものは新式に二十七隻ありて舊式に四十四隻あり

財政に就きては一千八百九十六年度に於ける歳入は一億三百九十五萬磅にして歳出は一億一百四十八萬磅なりしが國債の高は六億三千四百萬磅に達せり

農工商は共に發達して當國の富力をして偉大ならしめたるが、殊に商工の二業は世界第一にして實に空前の盛況を呈せり而して其の原因たるや石炭と鐵とに富めるを第一とし、製作品の販路に當れる殖民地の饒多なるを第二とし、世界各部の間に於ける交通上の機關たる船舶を十分に

農業

工業

備ふるを第三とし、國人に有爲、着實、忍耐、不撓等の美性あるを第四とす

土地は概して大農に屬し八町歩以上の地主は百分の九十三強に達すと云ふ、殊にアイアランドにありては耕地は僅少の豪族の間に分たる、而して農産は馬鈴薯、亞麻、大麻等にしてイングラントの南部にありては果樹の栽培を見る又土地の濕潤にして氣候の海洋的なるは牧草の生育に適するを以て養畜の業は甚盛なり、森林は多からざるがアイアランドには皆無なり

採鑛業は石炭をマーサーナ、ピル、バーミン、ハム、ランカスター、ニールカスル、グラスゴウ等の煤田より出たし、鐵を各地に出たす、其の他に銅、鉛、錫、岩鹽等の産あり、工藝の中心は全國到る處に存在して鑄物、機械、兵器、刃物、針、時計、車輛、陶器等

を製せり、殊に織物業は盛大にして綿布、羅紗、絹布、レース、麻糸、麻布、等を興ふ

貿易は一千八百九十七年に於て輸入に四億五千一百萬磅ありて輸出に二億四千萬磅あり、之を國別にすれば輸入國には合衆國、フランス、オランダ、ドイツ、ロシア、等ありて殖民地にオーストラリア、新シーランド、印度、等あり、輸出國には合衆國、ドイツ、フランス、等ありて殖民地に印度、オーストラリア、新シーランド、等あり又貿易高を品種別にすれば輸入に穀類、實綿、肉類、生毛、木材、酪類、絹布、砂糖、等ありて輸出に綿布、鐵物、石炭、機械、毛布、等あり而して商港の主要なるものはロンドン、リバプール、グラスゴウ、ロンドンデリ、クィンズタウン、プリストール、等なり

遠年次	入		出	
	イギリス旗	外國旗	イギリス旗	外國旗
部計	部計	部計	部計	部計

洋行	沿岸	航	
		行	行
一八六〇	一八九三	一八九七	一八九七
六八八九	五〇二八	三二一九	三二一九
一一七三	一一五三	一一七五	一一七五
一一七三	五一八二	四四九三	四四九三
七〇二五	四四八六	三三三五	三三三五
五四九〇	一〇五	一三〇四	一三〇四
一一五一	四五七二	四五七二	四五七二
		四九四一	四九四一

鐵路は三萬四千四百軒にして之れを三部に區分すればイングランド、エールズの二萬三千八百四十七軒、スコットランドの五千五百四十七軒、アイアerlandの五千九十八軒と成るなり、此等の長を地積に對比すれば世界屈指の鐵道國たるを見るべし、又商船は帆船に一萬二千十三隻、二百七十一萬噸ありて、汽船に八千四百九十二隻、六百廿八萬噸あれば合計は二萬五百五隻、八百九十九萬噸なり、而して之に殖民地に於ける一萬四千七百卅四隻、百四十九萬噸を加

ふれば如何にイギリスの商船の富力の強大にして世界第一と稱せらるるの實あるを知るに足らん、此の外郵便局を二萬一千ヶ處に設け國設の電信線は六萬六千軒に亘れり

ロンドン(四四六,〇〇〇)はテムス河に跨る聯合王國の首都なるが人口富力商船商業工業等に就きては世界第一の市街たり寺院家屋等の建築は美ならざるに非されども船渠倉庫工場等の廣大なる天下に其の比を見ず工藝の中心として絹布馬車刃物等を製作し世界の最大市場として商業上の覇權を握りて五大洲に號令す實に盛を極むと云べし又幾多の學校學會の設けありて文學若しくは科學の社會に對しても亦第一流の都府たり而して當府の附近にあるグリニツは有名の天文臺の所在地にして本初子午線は此の地を通過す、プリストル(二二二,六〇〇)は五大商港の一に

ロンドン

カルヂーフ

バーミンガム

ノッティングハム

シヒエルド

リーツ

ブラドホー

ヒール



(園公 — ン ド ン ロ)

して銅、亞鉛、砂糖、等を輸出す、カルヂーフ(一七,〇〇〇)は石炭を産す

バーミンガム(五〇,〇〇〇)は冶金業の一大中心たり、ノッティングハム(一一,〇〇〇)は「レース」を製す、シヒエルド(三三,〇〇〇)は銅、鐵、刃物を製す、

リーツ(四一,〇〇〇)は羅紗、陶器を産す、ブラドホード(二二,〇〇〇)は敷物を製す、ヒール(二二,〇〇〇)

リバプー

マンチッス
グー

〇〇)は捕鯨に従事す屈指の商港たり、リバプー(六三、〇〇〇)は絹布の市場なり世界第二の商港たりしが近來此の地位をハンプルヒに譲りたるが如し、マンチエスター(五三、〇〇〇)は綿布製造の最大中心にして此の地に産する織物は地球の各所に普及せり、近傍にサルホード(二一、〇〇〇)、オールドハム(一五、〇〇〇)、プレストン(二一、〇〇〇)、ボルトン(一一、〇〇〇)ブラックバーヌ(一一、〇〇〇)等の市街あり何れも繁昌の地なりとす、ニョーカッセル(二二、〇〇〇)は産炭地にあり、

ニョカッセル

ブリートン(三三、〇〇〇)に海水浴場あり、ポーツマウス(二八、〇〇〇)は一大軍港を有す、サウサムプトン(六、五〇〇)は渡洋船の出入する處なり、プライマウスは軍港を有す、レイセスター(一七、〇〇〇)は毛織靴下を製す、羊の市場たり、ヨーク(六七、〇〇〇)は歴史上有名の地なり、サンデルランド(四、〇〇〇)は盛に石炭を輸出す

エヂンバラ

エヂンバラ(二六、〇〇〇)は舊都の地なり、工業並に學術會社

グラスゴウ

の中心たり、グラスゴウ(六七、〇〇〇)はクライド河に瀕す、聯合王國第二の都會なるが盛に綿布、モスリンを製す又冶金業並に造船業に従事す

ダンギー(五、〇〇〇)は麻布を製し、アバーヂン(三、〇〇〇)は捕鯨に従事す

ダブリン

ダブリン(二四、五〇〇)は舊都の地なり商業に従事す、ベルハ

ベルハスト

スト(二五、六〇〇)は麻布を製す

殖民地

コーン(七、五〇〇)は商港を有せり
イギリスは殖民事業上、世界第一の國なるが領土二千八百萬方呎の地積と三億四千七百萬の人口とを以て五大洲に散在し或は天産國として原料を供給し或は消耗地として製品を需要し以て本國の繁榮を促せり

地中海	土地	地積	人口	一方呎ニ付
		九九二九	四二四七三二	四三

アヲア	五四九、七七六六	二九七〇八、〇九〇〇	五四
印度帝國	五二二、一三四〇	二九、一三八、一〇〇〇	六〇
直轄地	二四九、九二六〇	二二、一七、二九五二	八九
間轄地	二六三、二〇八〇	七〇、二〇、八〇〇〇	二六
セイラン	六、三九七六	三三、五九〇五	五二
海峽殖民地	三九九八	五五、八九三五	一四〇
香港	七九	二四、五〇〇〇	八
アフリカ	四五七、八六〇〇	三六八〇、二〇〇〇	八
喜望岬殖民地	七五、六八〇三	二〇四、四〇〇〇	二五
ナタル	七、〇八九〇	七、七、七八九一	一三
アメリカ	九四七、四七〇〇	三二〇、九〇六三	〇七
カナダ領國	八七六、七七〇〇	五一八、五九九〇	〇六
オーストラリア	八一九、六二六八	四八六、四八六七	〇六
南洋	四、三七九一	一五、二二三〇	六
印度洋	二八二二	三九、八〇九二	一四二

山 海 境
岳 岸 域

大西洋	一、二九〇九	二四二八一	二
合 計	二七八一、八〇〇〇	三、四七〇、五五〇〇	一三

南部

● イベリア半島

本半島はヨーロッパの南西部にありて大西洋と地中海との間に介在し北邊の一部はピレネー山脈に依りてフランスに連なれり、地積はバレンス諸島并にアフリカ洲に屬するアソレス、マデイラ等の嶋嶼を合はすれば五十九萬八千方料と成るが、五十萬五千方料はエスパニア (Spain) 王國に屬し九萬二千方料はホルトガル (Portugal) 王國に屬せり、海岸は概して屈曲に富まざるが太平洋に瀕する海岸はビスカイユ、セナバル、カヂス等の數灣を爲し、地中海の沿岸には顯著なる港灣を見ることなし、半島の内部は海拔五百

河 流

氣 候

住 民

乃至一千米突の土地を形成し山脈にて圍繞せらるる數個の盤地を抱括せり、ピレネー山脈はフランスとエスバニアとの間に蟠岬しカンタブル山脈はピレネー山脈に連続せり、シエラモレナは新カステルラの南にありてシエラチバタは秀嶺に富めり、此等の山脈は幾多の支脈を分派し一帯の高地を形成して殆どエスバニアの全部を蔽へり、
 河流は水量に乏しくして交通上便ならず、其の主要なるものはエプロ、ゾーロ、タヒ、グアヂアナ、グアラキビル等なり、
 氣候は臺地にありては寒暑の差烈しく地中海沿岸にありては暑氣強く乾燥なり、大西洋沿岸に於ては濕潤にして温和なるも山岳の附近は寒暑の激變を覺ゆ

● エスバニア王國

人口は一千七百九十七萬なれば之を地積に對比するに

政 治

生 業

交 通

方粒に付き三十六人と成るなり、エスバニア人は數多の種族の混同より成りしものにてヨーロッパ人中にてアフリカ的分子を含有する種族の一なり、是此の種族が熱帶地方に移住するに適する所以ならんか、而してエスバニアは一千八百七十六年以來立憲王國と成りて内閣は代議元老の兩院より成る國會の贊助に依りて政治に與れり
 カステルラは麥を産じ地中海沿岸の地は柑類、無花果、桃、杏、石榴、橄欖、葡萄等を産す、然れども北部并に中部には無水の地、鹹水の平原ありて全生産力を缺けり、而して山岳地方は鐵、石炭、水銀、鉛、銀、銅、亞鉛、食鹽等を生ず、貿易は輸入に綿、石炭、木材、麥、煙草等の九億一千萬、ペセタありて輸出に葡萄酒、鐵、綿布、鉛、銅等の十億二千萬、ペセタあり、
 交通上の機關としては河流に航行し得べきもの少なく

鐵道には一萬三千軒ありて船舶には五十萬噸あり
 マドリッド(五〇,〇〇〇)は王國の首都なるがマンザナレス河
 に瀕す市街は美麗なれども工業は振はずバルセロナ(二七、
 〇〇〇)は軍府の一にして王國第一の商港なるが又工藝の中
 心として絹布、羅紗、レース等を製造す、バレンシア(二七、〇〇〇)
 は絹布を製す、ムルシア(九、八〇〇)も亦絹業の中心たり、マラ
 ガ(一三、〇〇〇)は商港の一にして葡萄酒を輸出し又冶金に従
 事す、セビラ(一四、〇〇〇)は舊都の地なり、アルカザルの宮殿并
 に宏大なる寺院を有せり

カヂス(六、二〇〇)はレオン島にあり一大軍港なるが又商業に従事す

◎アンドラ共和國

アンドラはピレネー山脈中にありて四百五十二方軒の地積と六千の人
 口とを有する一小共和國なるがエスバニアのユルヨル僧正とフランスと

に兩屬せり

●シブラタル

シブラタル(二七、〇〇〇)は一千七百年以來イギリスの領
 する所なり、地中海の咽喉たるシブラタル海峽の一隅に
 於ける一小半島にして地積は五方軒に過ぎざるが堅城鐵
 壁の稱ある砲壘は直立四百二十九米突の岩石上にあり、軍
 港とし倉庫地として有名なるのみならず又貿易港として
 は船舶の出入頻繁にして總噸數は九百二十五萬に達せり

●ホルトガル王國

ホルトガルはイベリア半島の南西部にありて五百五萬
 余の人口を有するを以て方軒の人口は五十五人と成るな
 り、ホルトガル人はエスバニア人に似たる所多けれども亦

政治
生業

ウフリカの分子の一層強さを観る、政體は立憲君主制的にて兵備は陸兵に平時の三萬四千人、戦時の十二萬人ありて兵艦に二十六隻、二萬一千噸あり

農業は米、柑類、葡萄酒、果實等を與ふるも、鑛業は僅に少量の石炭、食鹽、銅等を産するのみ、其の他、工藝の如きは更に振はず、貿易は穀類、實綿、畜類、魚類、砂糖、石炭等の四千七十萬、ミルレイスを輸入し葡萄酒、コルク、銅、畜類、魚類等の二千九百五十一萬、ミルレイスを輸出したり船舶は七萬八千噸なるが鐵路は二千三百六十籽なり

リスボア(三〇〇〇〇)は王國の首都にして軍港と商港とを兼ね、イギリスの製品、殖民地の物産を輸入す、ポルト(二四、〇〇〇)は盛に葡萄酒、果實等を輸出す

殖民地に就きては往昔の盛大を見ざるも地積に凡そ二百

境域
海岸

十五萬方籽ありて住人に一千五百萬あり

洲名	地積	人口	一方籽ニ付
アフリカ	二二二、六三二	一四二、〇〇〇	七
アマア	五六七〇	五九、三〇〇	四四
オセアニア	一、六三〇〇	三〇、〇〇〇	一八
合計	二二四、六二〇	一五二、〇〇〇	七

● イタリア王國

イタリア (Italia) は南ヨーロッパの中部にありて大陸、半島、嶋嶼の三部より成り、二十八萬六千余方籽の地積を有せり

海岸線は六千七百八十五籽に達するが主要なる海灣は

リギリア海、ナルレニア海、イオニア海、アドリア海、ナポリ灣、サレルヌ灣、タラント灣、ベチナア灣、等にして重要なる地角

山岳

は、モンテ、オトランテ、ポニハシオ、ピオンビノ等なり

山岳はイタリアの北境を爲す所のアルプ山脈と半島嶼を通過するアペニン山系とに屬するが、顯著なる高峰

モンテ(1100)エトナ(3311)は共に火山なり又ストロン

ボリ嶋に於ける火山は活氣の盛なるを以て名を知らる

ポー河はアルプ山脈より發してアドリア海に注ぐ、長は

六百三十軒に過ぎざれども水量に富める點に就きては

ヨーロッパ屈指の河流たり、アヂジ河も亦アルプ山脈より流

下してポー河と共に三角洲を爲して海に注ぐ、

北部のイタリヤは陸候を有するも南下するに従ひて氣

候は地中海的と成る、降雨は夏季に少なく時にシロコ風の

吹き荒むことあり

住民

一千八百九十七年調に依れば人口は三千一百四十八萬

政體

人にして一方軒に付きては百十人と成る而して人口の増殖は著しくして生産數の死亡數を超過するは毎歲三十萬以上なるも亦海外に移住するもの多く其の數は平均二十三萬なり、

政體は立憲君主國にして君主は内閣と共に行政を司り

元老代議の兩院より成る國會は君主と共に立法に従事せ

り、兵備は陸軍に平時の二十五萬人、戰時の百四十二萬人あ

りて海軍に兵艦の三百二十六隻三十七噸あり

農業は富源の主力にして米、麥、玉蜀黍等の耕種、盛に行は

れ山腹の階段地には葡萄、橄欖等の栽培あり又南部にあり

て椰子樹生育し、シシリア島に於ては草綿の収獲あり而し

て南部の牧地は羊牛を飼養せり、鑛産は鐵、大理石、硫黃等の

數種に過ぎずして工業は未だ盛なるに至らざるも機械の製

生業

交通

作、造船業に従事し、絹布羅紗を織り出たす、貿易は輸入に十
一億九千二百萬、リトラありて輸出に十億九千二百萬、リ
ラあり又輸入品は穀類、實綿、生糸、石炭、皮類、鐵、等にして輸出
品は絹布、葡萄酒、橄欖油、木具、大麻、アグルミ、等なり、船舶に六
千三百五十三隻、七十六萬五千二百八十一噸あり、鐵路に一
萬五千六百四十三軒あり

ローマ(四九,〇〇〇)はテベレ河に跨れる市街なるが一千八
百七十年以來、王國の首都と成れり、歴史上殊に宗教史上、有
名なる舊市にしてローマ法主の居住處、カソリック教徒の聖
地なり、美術的建築に就きて世界無比と稱せらるるが就中
コリゼ、パンセオン、サンペトロ、バナカン、等を以て著しとす
而して此の地の生業は羅紗、絹布、敷物、蠟燭、等を製するが殊
に寄石細工、彫刻物、等の美術品を輸出するを以て有名なり

ヒレンツ

トリノ

ゼッ

ヒレンツ(一一,〇〇〇)は美術史上有名の地なり、絹布、裨帽を製
す、トリノ(三五,〇〇〇)はポー河に瀕す、舊都の地にして學藝の



(ミラノ—水晶街路)

中心なり、
兵器、絹布、
等を製す、
ゼッ(二
三,〇〇〇)は
軍港たる
のみなら
ず地中海
屈指の貿
易港とし
て船舶の

ミラノ

ナポリ

パレルモ

出入甚盛なり、ミラノ(四七、〇〇〇)は商業の中心なるが又絹布、綿布、馬車、等を製造す、ナポリ(五四、〇〇〇)はベジ、バ山の麓にありてナポリ灣に瀕す、學術の中心とし又工藝商業の中心として著名なり、殊に古物博覽會は世の知る所なり、パレルモ(一九、〇〇〇)はシシリア島の首府にして大學校、博物館、等を有し街衢は清麗なり

ボローニア(五、〇〇〇)は學術の中心として名あり、又工業商業に従事す、アンコナはアドリア海に瀕す軍港の一なり、リボルノ(〇、〇〇〇)は商港として絹布、大理石、釋帽、等を輸出するの外機械類を製造す、ベネチア(三、〇〇〇)は潟地に建設せられたる市街にして宮殿、寺院、等の建築を以て名を知らる、此の地に造船所あり、メシナ(二五、〇〇〇)は軍港の一なるが絹布、綿布を製す、カタナ(三、〇〇〇)はエトナ山の麓に於ける一商港なり

殖民地

イタフリが海外に所有する土地はアフリカ洲の東部の

沿岸にありてエリスレア殖民地(地積二、三〇〇、〇〇〇)アウッサ及ソマールの保護地より成れり

サンマリノ共和国

サンマリノはアドリア海の沿岸に於けるチタノ山にあり、六十二万平方の地積と八千の人口とを有する小國なり、

マルタ

マルタ島并に他の二島は一千八百年以來イギリスに屬す、地積は三百二十三万平方に過ぎざるも人口は十七萬六千に達せり、土地は岩石より成りて耕耘に適せず、氣温は零度に降ることなく更に寒氣を覺えざるも夏季は乾燥に失し冬季は強風屢起る、殊に降雨少なく水源に乏し、首府ラバタ(七、〇〇〇)はマルタ島の東岸にあり軍港としては地中海艦隊の根據地たり商港としては百貨の集散甚活潑なり

バルカン

●バルカン半島

バルカン半島がヨーロッパ大陸に接續する部分は廣濶なるに似たれども一帯の水脈は殆間斷なく半島の周りを圍繞せり、海岸は極めて屈曲に富めるが海灣には黒海、エジヤ海、サロニカ灣、イオニア海等あり、海峽にはダラント、レパント、コルフ、オトラントあり、半島にはガリポリ、モレア等あり、地角にはコロナ、マタパンあり、地峽にはコリンスあり、又嶋嶼にはインプロス嶋、レムノス嶋、サソス嶋、北スポラデス諸島、シクラデス諸島、カンザア島、セリゴ島、ケハロニア島、イオニア諸島等あり

半島は平地少なく、山岳は到る處に蟠幄して山脈の趨勢の如きも極めて錯綜せり、北東にあるをバルカン山脈、ロドペ山脈と云ひ北西にあるをゲナラアルプと云ふ、

山河

河流にはドナウ河を始めとし其の支流たるサエ、ドリナ、モラワ等あり

氣候

ブルガリアの平野に於ては寒暑の差烈しくスルビヤ又はマセドニアの山間平地にありては稍温和なり、山地に於ては冬季に嚴寒を覺ゆれどもボスホルス海峽、マルマラ海の沿岸は氣溫低からずして晴天多く良候の地なり

住民

バルカン半島は數多の種族が群居雜住するの地なるが殊にマセドニアを以て然りとす、ボスニア、ヘルツェゴ、シテチゴ、スルビヤにスラブ人あり、ブルガリア、東ルーメリアにはブルガリア人あり、アルバニアはスキタル人の占居の地にしてコンスタンチノールよりサロニカに至るまでの沿海地并にコンスタンチノール、アンドリノブルヒリ、ポポリ、サロニカ等の如き都會の地にはギリシア人多

分 國

く、トルコ人は各處に居住するも其の數は少なし
宗教には三派あり、ギリシア正教はギリシア人、スルビヤ人、ブルガリア人等の奉ずる所に於て、カソリック教徒は多からざるも、マホメット教ニ屬するものはトルコ人の全部并にボスニア人、南北アルバニア人の一部なり

本半島は擧げてオットマン帝國に屬し、スルタンの威權の下に屈服せしが十九世紀に至りてギリシア、スルビヤ、モンテネグロは獨立し、其の他にブルガリア、東ルーメリア、ボスニア、ヘルツェゴビナ等の政治的區分を見るに至れり

●ギリシア王國

ギリシア即、ヘルラス(Hellas)はバルカン半島の南端に於ける半島國にしてヘルラド、モレア及、島嶼の三部より成りて六萬五千二百二十方呎の地積を有せり、人口は二百四十三

地 積
人 口

政 治

萬にして一方呎に付きての人口は三十七人なり
一千八百三十年に於て獨立國と認められたるギリシア王國は立憲政治の下にありて二百七人の議員より成る國會と五人の國務卿より成る内閣とを有せり、兵備は陸軍に平時の二萬五千人、戰時の八萬二千人ありて海軍に六十九隻、二萬七千噸の兵艦あり

生 業

葡萄園は一百萬疇の葡萄酒と多量の乾葡萄とを與へ、外に橄欖、柑類、無花果等の果樹あり、牧畜は微々たるも亦發達の望みなきにあらず、漁業は稍盛なるも工業は僅に銀鉛鑛の採掘に従事するのみ、一千八百九十四年に於ける貿易は輸入に一億一千六百萬ドラクムありて輸出に七千三百万ドラクムあるが穀類、石炭、製藥綿布等を輸入して乾葡萄、鉛等を輸出せり、鐵路には九百五十二呎ありて商船には一千

都 邑

三百七十隻、三十三萬八千二百噸あり而してユリシヌの運河はリイオニア海とエジツア海とを連絡せり。アセヌ(一一、〇〇〇)は往古のアセヌの地に建設せたる市街なるが河流に瀕するなく海岸を距ること數里の處にありて近代の市街地としては資格に缺くる所多きも王國の首都たるが故に漸次に旺盛に趣けるが如し且又此の地はパテルフシ、エレクテイオン、スエイオン等の有名なる建築の遺跡あるを以て世に知らる。

ビレアス(四、〇〇〇)はアセヌの附近に於けるギリシア第一の商港にして盛に百貨の取引を爲せり。

トルコ帝國

メマリクイオスマニイ(Memlik-i-Osmaniye)即トルコ帝國はヨーロッパ、アジア、アフリカの三大州に跨れる一大國に

境 域

じて地積は四百五十萬方呎、人口は凡四千萬人なり

所 領 地	地 積	人 口	方 呎 二 付
直轄地	一六二、五五〇	五八二、三〇〇	三三
クレータ	八六一八	二九、四一九二	三三
ブルガリア	六三、一六〇	三三〇、九八一六	三三
東ルーメリア	三三、五〇〇	一五六、八〇九二	三三
ボスニア、ヘルツェゴヴィナ	五、一〇二八	一五、三〇〇〇	三三
ノビパザル	七、三五〇	一一、三、七四〇〇	三三
ヨーロッパ部	三三、六二〇六	一一、三、七四〇〇	三三
直轄地	一六八、四七〇八	一七四、二九二〇〇	九
サモス	四、六八	五、一七四五	一〇二
キプロス	九、六〇一	二〇、九二九一	二九
アジア部	一六九、四七七七	一七六、九〇、三三六	九
トリポリ	一〇三、三四〇〇	一〇〇、〇〇〇	一

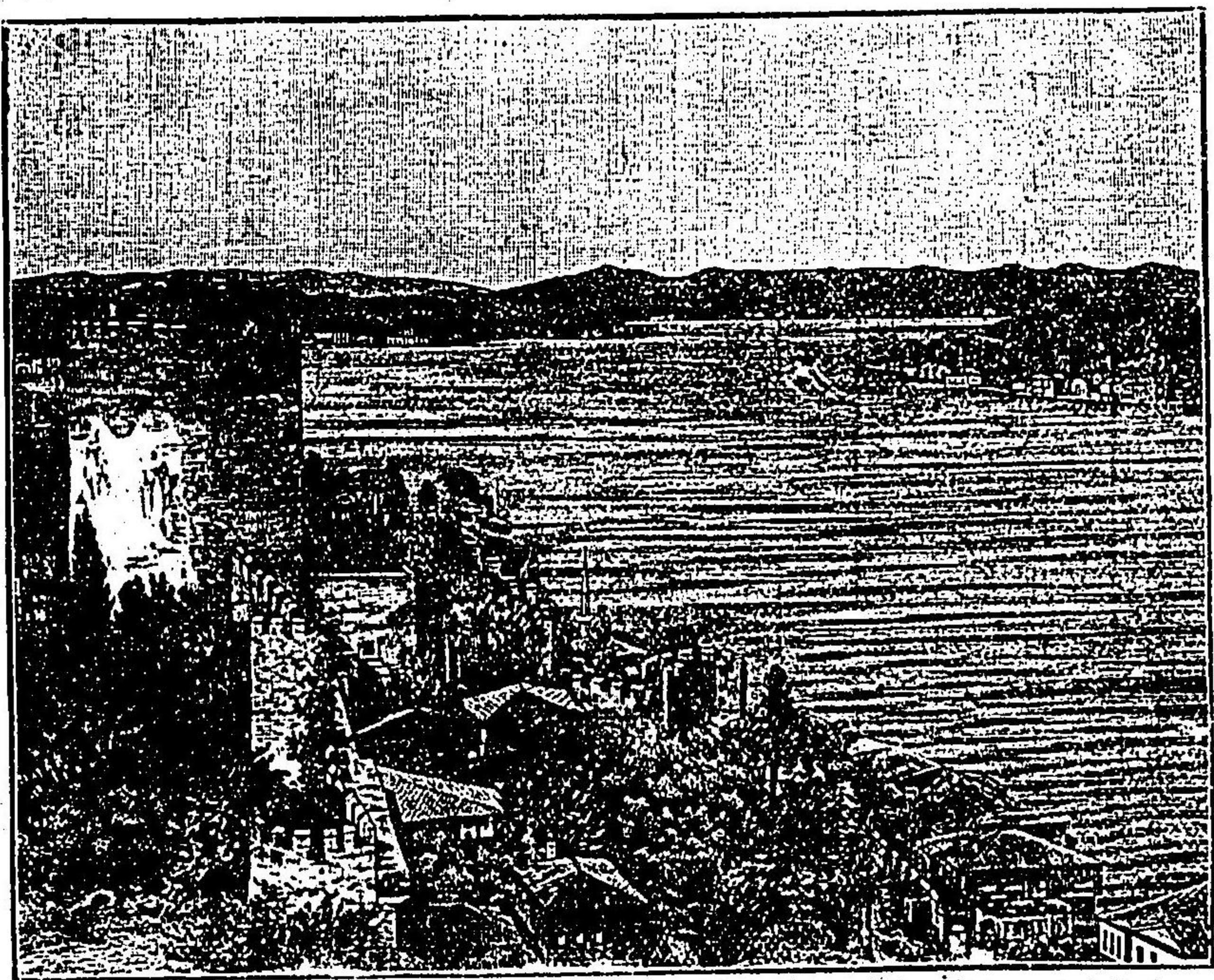
政治

生業

一千八百七十六年發布の憲法に依れば政體は立憲君治なれども實際に議會の召集を行ひたることなし、されは事實上は專政君主國にして君主は「スルタン」と稱し、「カリフ」を兼ね、兵備は陸軍に平時の十八萬人、戦時の八十萬人ありて兵艦に甲種の四十一隻、六萬八千噸ありて乙種の六十二隻、四萬一千噸あり

ヨーロッパの地は概して佳良なるが濕氣の充分なる溪谷にありては殊に肥腴なり而して農業は穀類、葡萄酒、煙草を興へ、牧業は羊を飼ふ、山地には森林の存するあるも

エジプト	九九四三〇〇	九八二、一五四四	七
サウス		一一、二四〇	二
アフリカ部	二〇二、八〇九三	一〇八、六三六八四	四
合計	四〇四、九〇七六	三九六、五、三二〇	八



(ルアーノチンタスノコ——峽海スルホスゴ)

道路の整備せざる爲未だ之を利用するに至らず、工藝は不振にして僅に敷物、絹布、香水、馬具、等を製出するに過ぎず、貿易は輸入に二千四百五十萬、リールありて輸出に一千五百三十七萬、リールあり、輸入品は麻布、砂糖、織物、穀類、綿絲、等にして輸

出品は穀類、葡萄、生糸等なりとす、又商船は十二萬噸にして、鐵路は三千百十四軒なり

コンスタンチノール(八七、〇〇〇)は一にスタンブールと云ふ、ボスホルス海峽に枕み航通上、最要の位置にあり、國都としてオスマニエの一大政區たるのみならず、又東方貿易の一大中心なり、殊に寺院、宮殿は壯觀を極むるを以て有名なるが住民にはトルコ人、ギリシア人、アルメニア人等あり、アンドリノブル(七、〇〇〇)は革、敷物、香水を製す

●ボスニアヘルツェゴビナ

ボスニアヘルツェゴビナはベルリン條約に依りてトルコ帝國の主權の下にエステラライヒルウンガルヌ君主國の占領地と成りたり、地積は五萬一千餘方料にして、人口は凡百五十萬なり、

●ブルガリア公國

ブルガリアは東ルーメリアを合はすれば九萬九千六百六十方料の地積を有し、三百三十一萬の人口を有せり、住民の多數はブルガリア人にして五十七萬のトルコ人、六萬のギリシア人、五萬のナガヌ三萬のシデア人あり

トルコ帝國の屬領たるの名を有するもブルガリア公國は立憲君主政治の下に置かれ立法を司る國會と行政に當る責任内閣とを備ふ、又兵備には四萬三千の陸兵あるも海軍は數隻の小艦を有するに過ぎず

農業に麥の産あり、牧畜に羊の産あり、又香水は東ルーメリアの特産たり、貿易は輸入に八千四百萬レユありて輸出に五千九百八十萬レユあり而して交通に就きてはドナウ河の航路と九百九十三軒の鐵路とを有せり

ソヒア(四、七〇〇)はブルガリアの首府にしてブルガリア

東ルーメリア二州の管轄廳の所在地なり

●モンテネグロ公國

モンテネグロ即ツルナゴラ (Tarnagora) はヘルツェゴビナの東にありてコッソボ、スコドラ二州の間に介在せる小國なるが地積は九千八千方糎にして人口は凡二十三萬なり、種族はシゴスラブの一派に屬す、愛國心に富み獨立に熱中するの點に於ては殊勝なれども亦教育なく學識に乏しくして半開の民たるを免れず、信教上に於ては、カソリック教、マホメット教の各に四五千人の信徒あるの外、其の他は悉くギリシア正教を奉せり、政體は君主專治にして兵備は舉國皆兵の主義に依る、國內山岳多く地味は礫礫を極むるを以て耕種に適するの地稀にして僅に牧業に依りて牛羊を産するのみ、首府はセナエにしてアドリア海、カッタロ灣、スコドラ

湖を距ること相均しく海拔一千一百米突の盤地にあり

◎スルビヤ王國

スルビヤはバルカン半島の北部の中央に位する小國なり、國境附近に於ける山脈は海拔二千米突以上に達して樹木は蒼蔚として之を蔽ひ、河流も其の數少なからざるが就中モラワ河は多量の水をドナウ河に輸送せり、地積は四萬八千六千方糎にして人口は二百二十八萬なり、此等の住人は概シゴスラブ種族の一派に屬するが十四萬餘人はローマニア語を用ひ三萬七千餘人はペーメン語を用ふ而して信教上はギリシア正教に屬せり、此の國は舊トルコに隸屬せしが一千八百七十八年のベルリン條約に依りて獨立を認められ一千八百八十二年以來は王國と稱す、政體は立憲君治にして立法を司る國會を有す、兵備は陸軍のみなるが

平時に十萬餘ありて戰時に三十二萬餘人あり、土地は概して豊饒なれば穀類殊に玉蜀黍を産し其の他、果物にはプリム、葡萄多し又牧業は豚を飼ひ山林は木材を産し鑛業は石炭、水銀、鉛等を與ふ貿易は輸入に三千四百八十八萬ヂナルありて輸出に四千六百萬ヂナルあり而して交通に關しては道路は多少開け鐵路は五百十七桿の長を有せり
ベオグラド(六、〇〇〇)はドナウ河とサエ河との相合する地にあり王國の首都なるのみならず軍府とし商業の中心として名あり

● ローマーニア王國

羅馬ーニア(Romania)はバルカン半島の北東に於ける一小國にしてモルダビア、バラキア、ドブルヂアの三部より成れり、地積は三部を合はすれば凡十三萬一千方桿と成りて

境 境

山 岳
河 流
氣 候
住 民

湖を山岳地、丘陵地、平低地の間に平分せらる

後、シルバニア、アルプ山脈は東西に走りカルパット山脈は南より北に赴けり、ドナウ河を始めとし河流は甚多くして灌漑の利と交通の便とを合はせ供するものあり、氣候は大陸的にして寒暑の差著し

住民は五百四十二萬なるが概して羅馬ーニア種族に屬し其の數は四百七十萬に達せり、此の外、シヂア人に十五萬、ツガヌ人に二十萬ありて殘余はスラブ人、ドイツ人、マジアル人、アルメニア人、ギリシヤ人等より成れり

羅馬ーニアは舊一公國としてトルコ帝國に隸屬せしが一千八百八十一年以來獨立して王國と稱し、君主は二院より成る國會と八人の國務卿より成る内閣と共に國政を司れり、兵備は陸軍の平時の六萬五千人、戰時の十八萬人ある

生業

も海軍には僅に小艦の二十一隻、三千噸あるのみ

ローマニアは耕種又は牧畜に従事し玉蜀黍、大麥、烏麥等を産し葡萄酒を製す、貿易は輸入に三億五千六百萬、レイありて輸出に二億二千四百萬、レイあるが輸入品の重なるものは織物、金屬器、藥品、果菜等にして輸出品は穀類を主とす又船舶は七萬三千噸にして鐵道は二千九百軒なり

都邑

ブクレシュ(二三、〇〇〇)は王國の首都なり、街衢は美麗ならざるも南東ヨーロッパ第三の都會にして商業も繁榮せり、ヤシ(六、六〇〇)はモルダビアの舊都にして商業に従事し、ガラツ(六、〇〇〇)は王國第一の商港として穀類を集散す

よーろば洲終

あぶりが洲

中等
教育
普通地理教科書

外國地誌

あふりか洲目次

總論	一
自然之部	一
政治之部	一一
大陸部	一七
北あふりか	一七
北部	一七
エジプト	一七
トリポリ	一一
ベルベリア地方	一一

中部……………二六

サハラ地方……………二六

スーダン地方……………三八

東部……………三三

アビシニア地方……………三三

ソマリーリ地方……………三五

東アフリカ地方……………三五

南あふりか

西部……………三七

コンゴ地方……………三七

南西アフリカ地方……………四〇

中部……………四一

カラハリ地方……………四一

ザンベシア地方……………四二

モザンビック地方……………四三

南部……………四三

南アフリカ共和国……………四三

スワツォーランド……………四五

オランイ自由國……………四五

イギリス領……………四六

鳴嶼部

印度洋嶋嶼……………五一

南大西洋嶋嶼……………五四

北大西洋嶋嶼……………五四

スルビヤ王國…………… 一三三
 ロアーニア王…………… 一三四

中等教育普通地理教科書

野口保興著

外國地誌

あふりか洲

●總論

自然之郵

境域
 アフリカ(亞非利加)洲は舊大陸の南西部を占むる陸地なり、其の大陸部はシエズの地峽に依りて僅にアジア洲に接續して一大半島を爲し、北東は紅海、アデン灣に枕み、東并に南東は印度洋に瀕し、西は太平洋を控へ、北は地中海を隔ててヨーロッパ洲と相對す、南北に稍長くして八千一百浬を有するも東西は七千五百浬なり、

地積 海岸 海灣 海峡

極北 白岬 北緯 凡三十七度二十分
 極南 アングルハス岬 南緯 凡三十四度五十一分
 極東 シェルダフイ岬 東經 凡四十九度八分
 極西 綠岬 西經 凡十九度五十三分

地積は大陸部のみにて二千九百二十萬方秆に達するが之に島嶼部の六十二萬五千方秆を加ふればアフリカ全洲の地積は二千九百八十二萬五千方秆と成るなり、海岸線の發達は五大洲中最不完備なるものにして僅に二萬八千五百秆を有するに過ぎず、

印度洋 紅海 シェズ灣 アデン灣 デラゴア灣
 海灣 大西洋 ギニア灣 ベニン灣 ビアフラ灣
 地中海 ガベス灣 シドラ灣
 海峡 バブエルマンデブ海峡 モザンビク水道
 シブラルタル海峡

半島 地角 地峽 嶋嶼 山岳

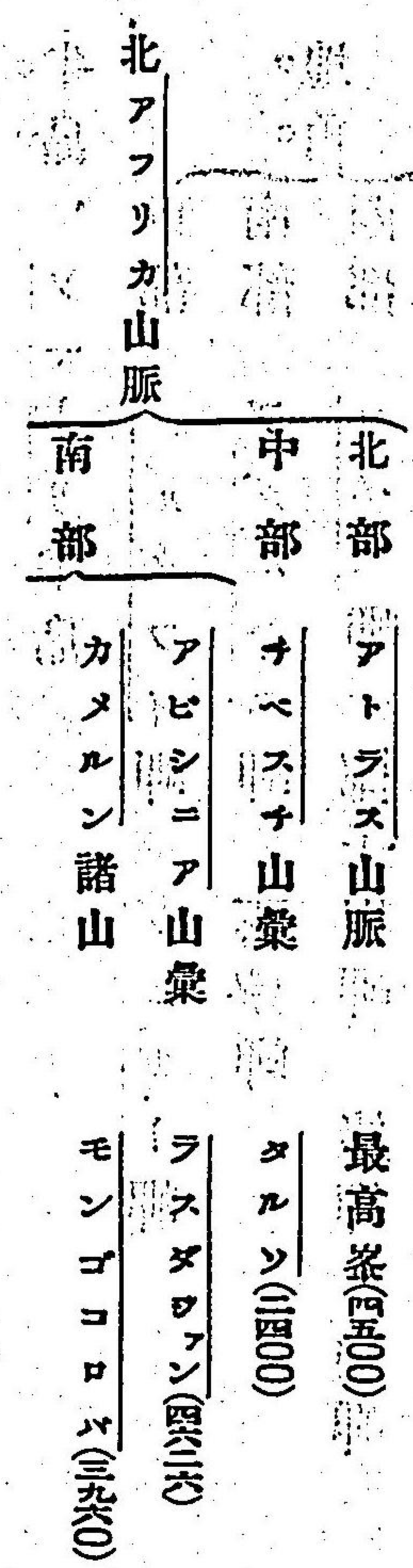
半島 ソマリー半島
 地角 東部 グルダフイ岬 デルガド岬
 南部 アグルハス岬 喜望岬
 西部 ロベス岬 椰子樹岬 綠岬 白岬
 北部 スバルテル岬 白岬 ボン岬

地峽 シェズ地峽

嶋嶼 印度洋
 ソコトラ島 ザンシバル島 セイシユル諸島
 アミランテ諸島 コモロ諸島 マダガスカル島
 マスカレンハス諸島 モーリシアス、レユニオン等
 セントヘレナ島 アスセンション島 ギニア灣
 大西洋 諸島 アンボン、サントロー、
 プリンシッペ、ヘルナンドボ、 綠岬諸島
 カナリア諸島 マデイラ諸島 アンレス諸島

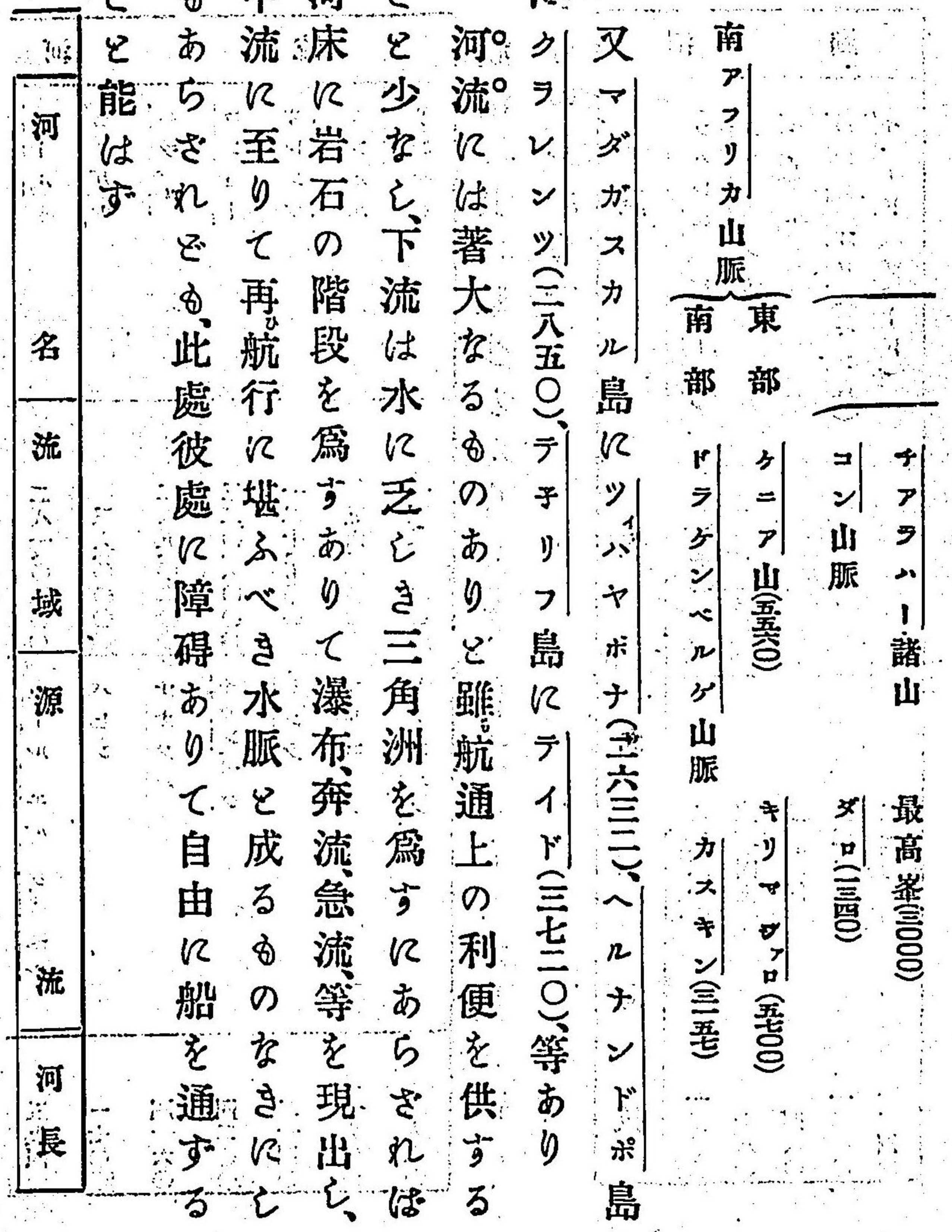
アフリカ大陸は一大高原を形成し周圍には山脈を繞ら

せるが内部の地勢を観察すれば南北の高原より成るを見るべし、北アフリカ高原はサハラ、エジプト、ソマリア等の臺地より成りて東西に長く南北に短し殊にアビシニア地方の山地は高隆にしてラスダジン山は直立四千六百二十六米突に達せり而して南アフリカ高原は海拔一千乃至一千五百米突の地に據りて北アフリカ高原に接續し東南西の三面には高隆の地を控へ南北に長く東西に狭し殊に東方に於ける山脈には急峻なるものありてケニア(五五六〇)、キリマシロ(五七〇〇)等の如き秀峯を抱括せり



河 流

にクラレンツ(三八五〇)、テネリフ島にテイド(三七二〇)等あり。河流には著大なるものありと雖航通上の利便を供すること少なし、下流は水に乏しき三角洲を爲すにあらざれば河床に岩石の階段を爲すありて瀑布、奔流、急流、等を現出し、中流に至りて再航行に堪ふべき水脈と成るものなきにてもあらざれども、此處彼處に障碍ありて自由に船を通ずること能はず



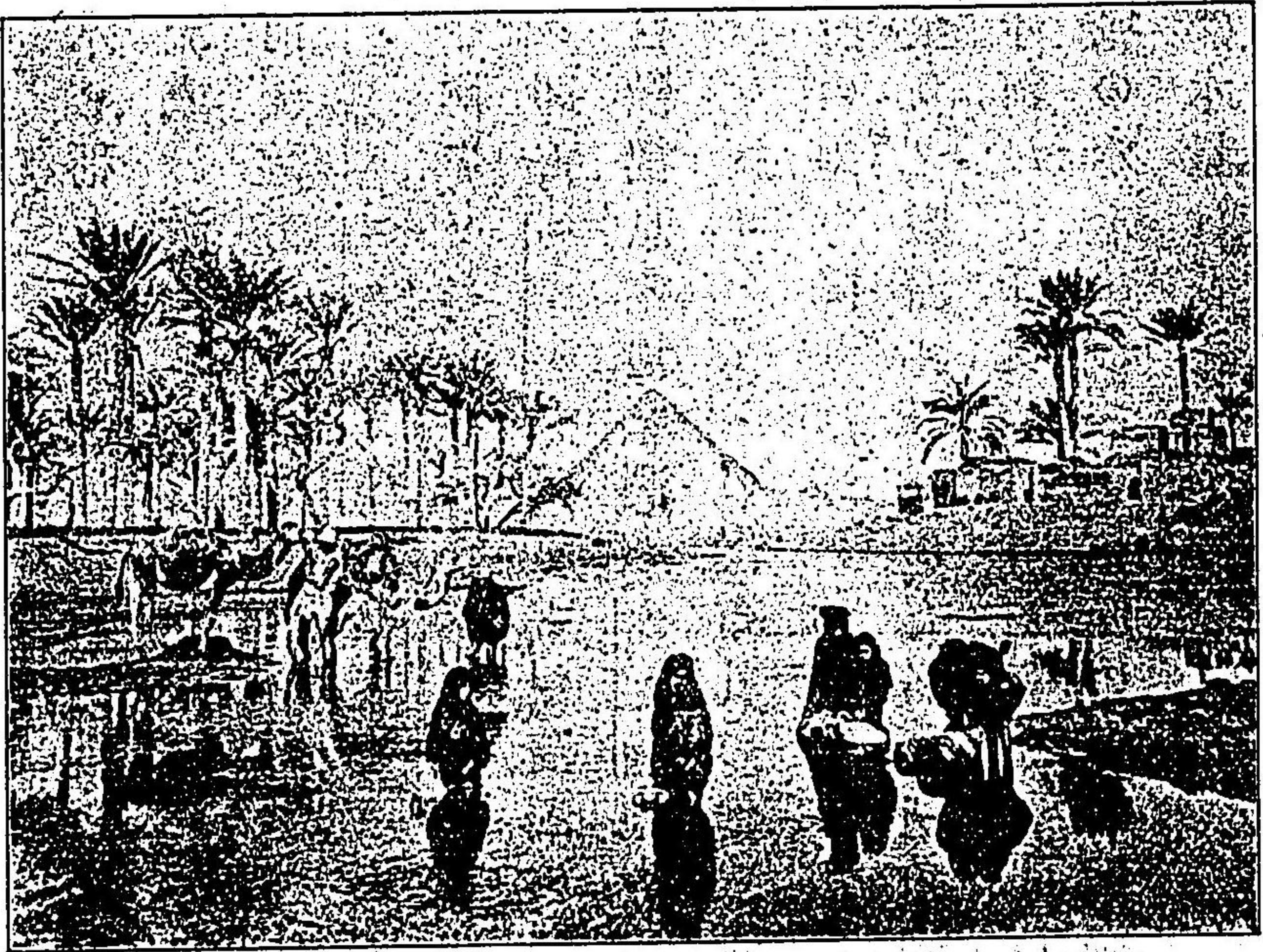
河名	流域	源	流	河長
----	----	---	---	----

沼 湖

湖沼は其の數少なからざるも巨大にして水量に富みたるもの多からず

湖 沼	名	面積	海拔
ウケレエ (ピクトリア、ニアンザ)	ニール	八三三〇 ^カ	一三〇〇 ^米
タンガニイカ	セナガル	三一四五〇	七八〇
ニヤツサ	ニヤル	三五二四〇	四八〇
ハンジエオロ (マン)	ニオソマ	二二二五〇	一三〇〇
ナード (ツード)	ナオン	三、四〇〇	二四四
	オレンサ	二二七五〇〇〇	二二四〇
	コンゴ	三三〇六〇〇〇	四二〇〇
	ニボボ	五六〇〇〇〇	一六〇〇
	ザンベジ	一四三〇〇〇〇	二六六〇
	パールエルサヘル		五九四〇 ^米
	ハビン		一七〇〇
	ナオン		四一六〇
	ナンム		四二〇〇
	センク		二二四〇
	マリコ		一六〇〇
	リアンバイ		二六六〇

ニール河



(ニール河畔)

ニール河はアフリカ洲第一の長流なり、本流たるパールエルアビアド即ち白ニールは水源をウケレエ湖に發す、同湖は海拔一千三百米突の地にありて八萬餘方呎の面積を有するがリポンの瀑布に依りて流出し、ソメルセト河と成りてルーダ湖に入る、同湖を出づるや山岳

水と稱し、藪蔚たる樹林の間に隠見し又は峽谷に入りて奔流或は激流し、シニベルの名の下に北流し、ノール湖の地に於て河流地方より來るパールエルアラブ、ジール等を合せたるパールエルガザルに合するや始めてパールエルアビアドと稱す、ソバットを容れ、タナ湖より出づるパールエルアズレク即ち青ニールを受くるや清濁の二水は並流して草木繁茂百獸棲息の地を潤し、ナグレ地方より來るアトバラ河を合はせ、ワザハルハの瀑布、其他二十ヶ處の瀑流に依りて階段の地を降り、沙漠の地をS字形に流れ、カーヒラの附近に至りて數派に分かれ、有名の三角洲を抱きて地中海に朝す、本河は五千九百四十軒の長を以て二百八十余萬方軒の流域の水を集むるも、乾燥の地を通過するが故に下流に至れば水量は甚だ多からず

コンゴ河は本洲第二の巨流なり、水源をタシガニイカ湖の南方に當る山岳に發す、海拔一千三百米突の地にあるバングエオロ湖に入り、ルアラ河と成り、モエロ湖を過りてルアラバ河と成る、タシガニイカ湖より出づるルクガの水を受け始めてコンゴと稱す、北流して赤道直下のスタンレイ瀑布を経て忽然として巨大の河流と成り、赤道以北の地に入り一大彎曲を爲し再赤道以南の地に戻る、而して此の中流區に於ける支流は其の數甚だ多きも就中、ウバシギカツサイを以て著しとす、コンゴ河がリベングストヌの瀑流と成りて三十二回に二百五十米突を降るに當りては河幅は五百乃至二百二十五米突に縮小するも深は五十乃至一百米突に達せり、最後の瀑流たるイルララを經過すれば河流は緩慢と成りて幅は十七軒に達することあるも、河口

氣候

天産

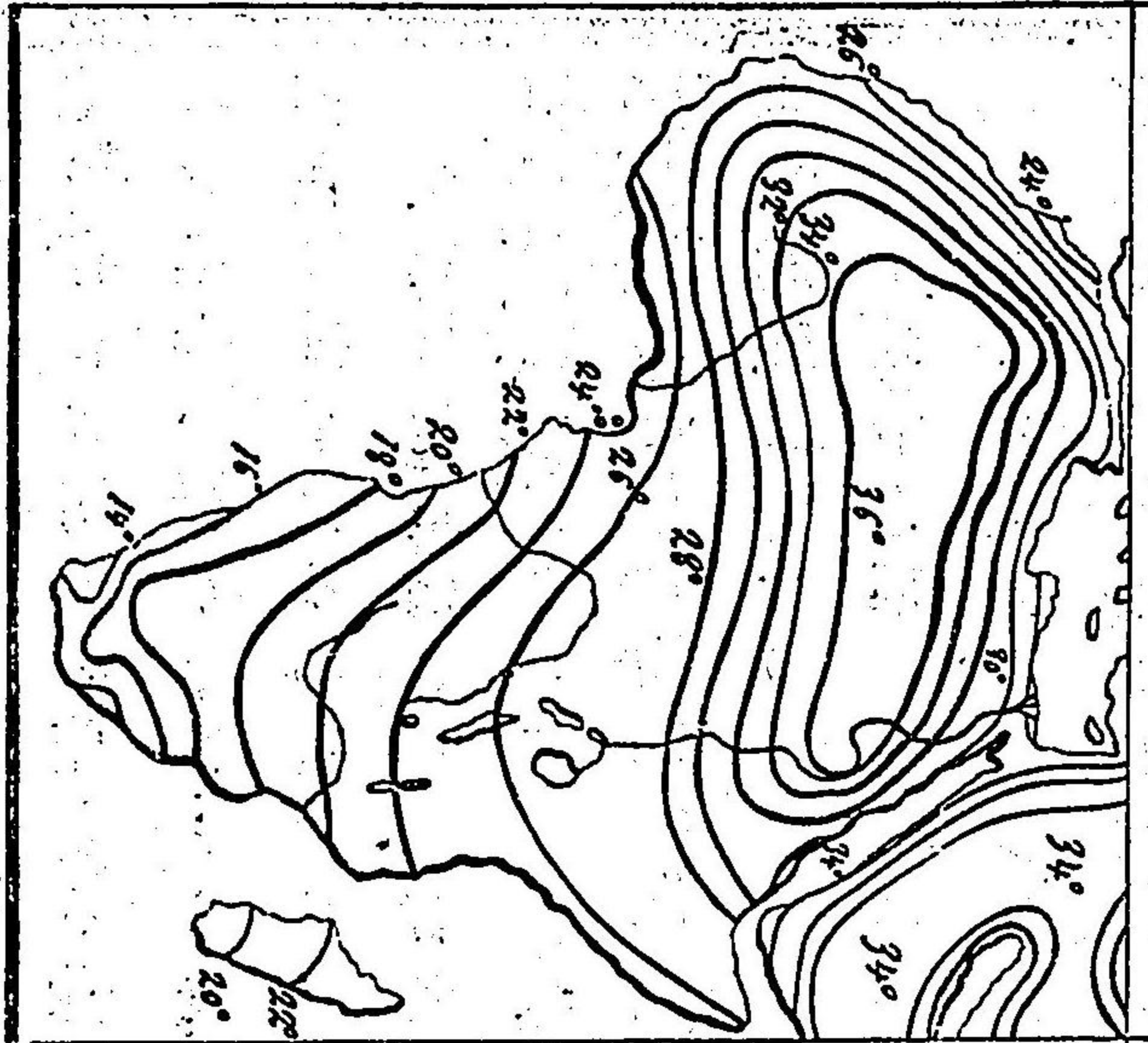
に至れば再縮小して六籽を有するに過ぎず然れども三百二十萬方籽の流域と四千二百籽の長を有するコンゴ河が大西洋に齎る所の水量は一秒時に三萬六千乃至五萬五千立方米突に達すと云ふ

アフリカ洲は概して熱帶的氣候を有せり北緯十五度と南緯二十度との間にある赤道直下の地にありては温度甚高く強雨屢降りて空氣は濕潤を極む而して極暑の地は紅海沿岸及東スーダンにありて濕度の最高はギニアの海岸及大湖地方にあり此の廣濶なる熱帶地の南と北とに酷暑にして乾燥を極むる一帯の地あり而して大陸の兩端に氣

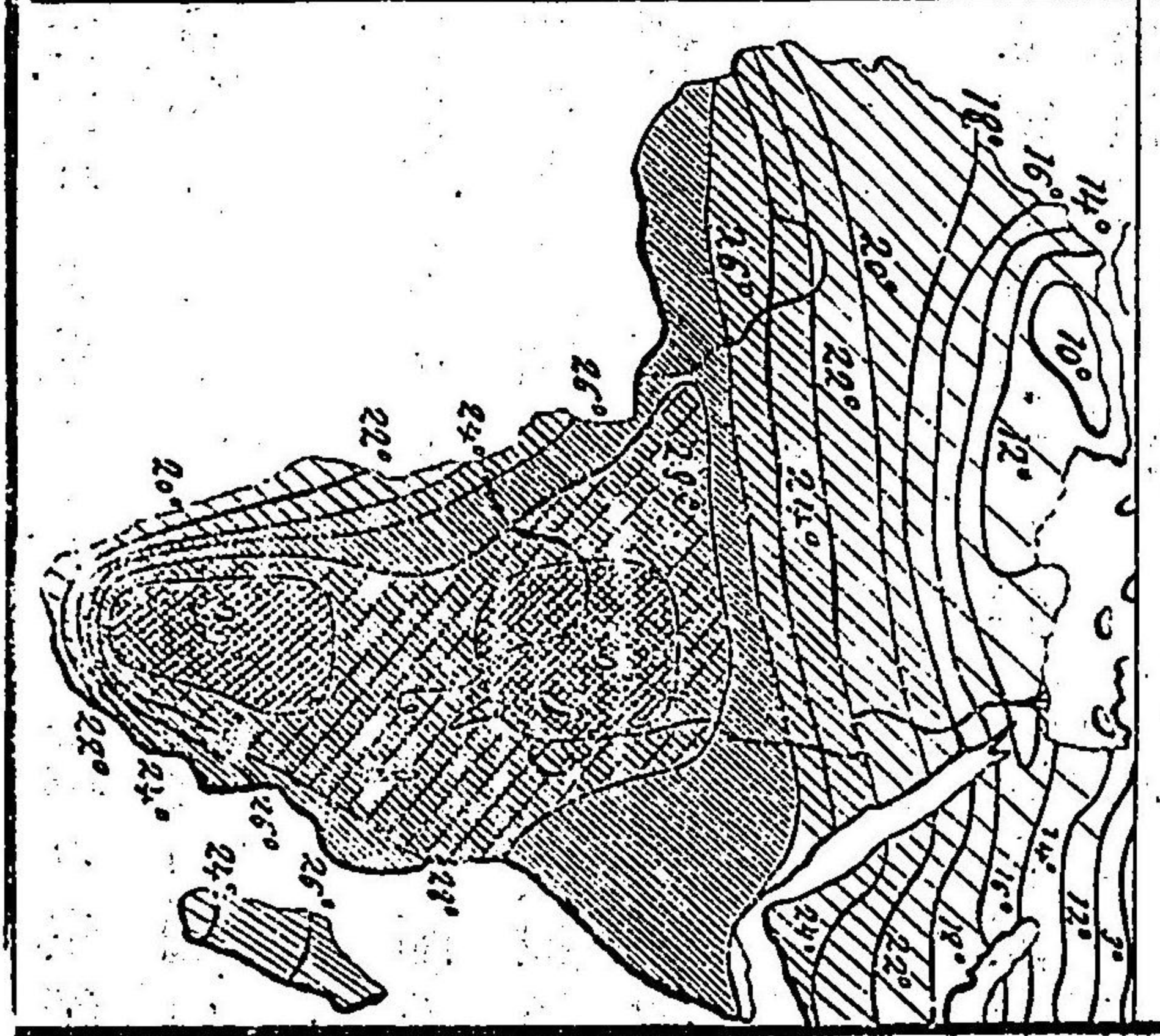
温中和にして各期に降雨を見るの地あり
本洲は未充分の探檢を経ざるが故に鑛産的富力の如何を確知するを得されどもキンバーレイ附近に於ける金剛

溫氣の洲かりふあ

線温同の月七



線温同の月一



石井にトランスバアルに於ける産金地の発見は他の産地の存在に對し有望なる豫告に外ならざるべし、鐵の生産には多少の疑なきにしもあらざれども金、銀、銅、石炭、石油の存在は確乎たる事實たり

植物には巨樹として有名なる「バオバ」を始めとし椰子類なつめやし、アカシア、ミモザ、エルギ、ナ、珈琲、綿草、アルハ、穀類らいむぎ、玉蜀黍等あり、動物には猩々、獅子、象、河馬、麒麟、斑驢、駱駝、驢馬、水牛、鰐、駝鳥等なり

政治之部

アフリカ洲の人口は確定し難きも二億と爲すもの或は眞に近からんか、されど之を地積二千九百八十二萬五千方糎に配附すれば平均の人口は方糎に付き七人あるのみ、而して人口の配附は極めて不平均にして海岸、河口、沿河の地

人口

種族

にありて人口密なれどもサハラ、カラハリ等の如き地には殆ど人類の生存せざる處あり

人種に就きてはハミット派にニール河畔のヘルラー人、地中海沿岸のベルベリア人、中央サハラのツアング人等あり、セミット派にはアビシニア人、アラビア人等にして北部并に東部に最も多し、黒色派に屬するものはスーダン及南アフリカの各地に居住せり、其のニグリシア種族はスーダン人、マングング人等に分れてサハラ以南、赤道近傍一帯の地を占む、其のハンツ種族は南アフリカの全部に生息せり、就中カプフル人、ズールー人は最上に位せり、ホテントットの一派は南アフリカの南西部に居り、ホバス人はマダガスカル島の東部を占め、サカラフ人は同島の西部北部を占む、マホント教は最勢力を有するが殊に赤道以北に於て盛

宗教

邦土分割表

なりとす。多神教は最劣の形状の下に現出し、拜物宗を成りてギニア地方、南アフリカの内部に行はる。基督教は未だ隆盛ならざるもアルジェリア、ナイジェリア、アンゴラ、モザンビーク等の移住者中に天主教信徒を有し、エジプト、アビシニア地方にユプト派の信者を有し、フランス、マダガスカル、オランイ、ケープ、ナタル、其他、ギニア、マダガスカル等に新教徒を有す又シ、デア教徒は北岸の地、サハラ、スーダンの各地等に散在せり

部	地方	所	領	地積	人口
北	北東	トルコ領	エジプト	九九四三〇〇	九七三〇〇〇
			トリポリ	二、九四二七	一〇〇、〇〇〇
部	ベルベリア	フランス領	チャニア	一〇三、三四〇〇	一〇〇、〇〇〇
			アルジェリア	九、九六〇〇	一五〇、〇〇〇
				八〇〇、〇〇〇	四一八、〇〇〇

あ		ふ		り		か	
中		東		部		部	
サハラ	スーダン	イタリヤ領	ソマリア	東アフリカ	エジプト領	フランス領	イギリス領
マダガスカル	エジプト領	フランス領	フランス領	フランス領	フランス領	フランス領	フランス領
四四、〇〇〇	六〇〇、〇〇〇	一〇〇、〇〇〇	一〇〇、〇〇〇	一〇〇、〇〇〇	一〇〇、〇〇〇	一〇〇、〇〇〇	一〇〇、〇〇〇
八〇〇、〇〇〇	一一〇、〇〇〇	一〇〇、〇〇〇	一〇〇、〇〇〇	一〇〇、〇〇〇	一〇〇、〇〇〇	一〇〇、〇〇〇	一〇〇、〇〇〇

大陸部

北あふりか

北部

● エジプト

エジプトはワジハルハ以北のニール河谷及三角洲、リビヤ沙漠の一部、ニール河以東スアキンに至るまでの紅海沿岸地、シナイ半島、マシアン地方等より成りて地積は一百万足らずの方料を有せり、ニールの河谷は恰、緑色の帯の如く南北に亘れるがカヒラーの附近に至れば平野と成り國內第一の肥沃の地たる下エジプトを形成せり、國內は平低にして山岳に乏しく、河流には唯一のニール河あるのみ、氣候は佳良にして寒暑の差は極めて少なく、降雨は稀にして水量に乏しきも、降雪は甚強くと云ふ

嶼 島	南 西			中 部		南 部	
	部	部	部	部	部	部	部
	南端アフリカ	ザンベシア	カラハリ	南西アフリカ	ドイツ領	イギリス領	ホルトガル領
	南アフリカ共和国 オランイエ自由國 イギリス領	イギリス領 ホルトガル領	イギリス領	ドイツ領 イギリス領	イギリス領 ホルトガル領	イギリス領 ホルトガル領	ホルトガル領
	三二〇〇〇〇 一八〇〇〇〇 一三〇〇〇〇 八五〇〇〇〇	七六、八七四〇 ?	?	八四、〇〇〇〇 一三三〇	一三〇、〇〇〇〇 七二、〇〇〇〇 一三〇、〇〇〇〇	二二五、〇〇〇〇 ?	九四〇〇〇〇
	五九、九四〇〇六 三三三九 四九三二 二〇三〇	?	?	二〇、〇〇〇〇 七六八	一九〇〇、〇〇〇〇 五〇〇、〇〇〇〇 一四〇〇、〇〇〇〇	三〇〇、〇〇〇〇 ?	三〇〇、〇〇〇〇
	三、七四、八〇〇〇 四〇、一四、五五 一三、一八、五七 三、〇〇〇〇						

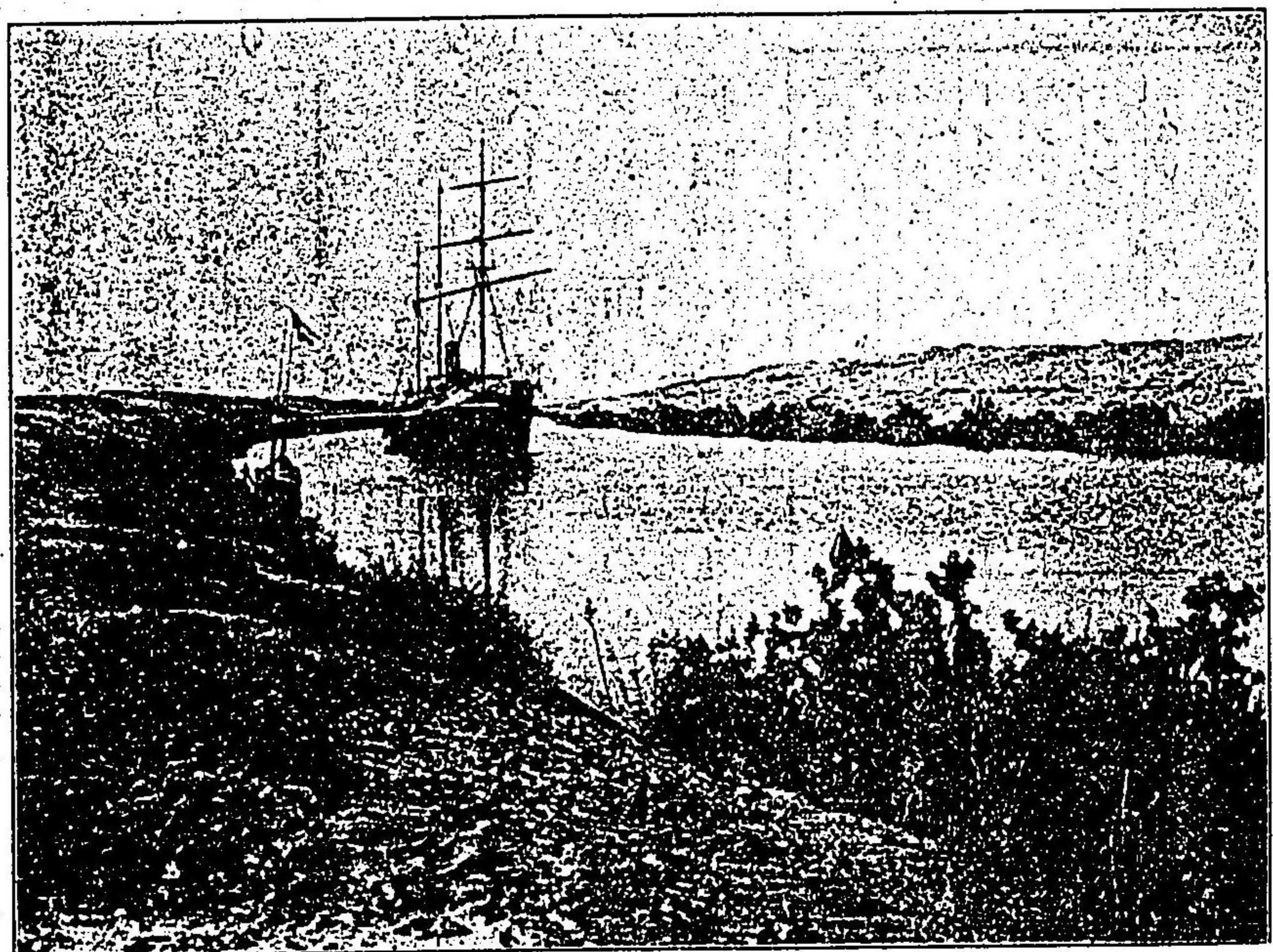
住 民

政 治

生 業

人口は九百七十三萬人なるが居住地は殆どニールの河谷
 并に三角洲に限れり、而して種族にはヘルラト人、ユプト人
 アラビア人、トルコ人、シテア人、アルメニア人等あり又外人
 には凡そ十萬ありて多数はヨーロッパ人なり、
 政體は專政君治なるが君主はケザフと稱して名義上は
 トルコの主權の下にあり、然れども一千八百八十二年の事
 件以來監督權はイギリスに屬するを以て同國政府は百般
 の政務に干涉せり、兵備は陸兵に一萬五千人あるも海軍は
 數隻の小艦あるのみ
 農業は穀類、實綿、甘蔗等を産するも工藝には見るべきも
 のなし、貿易は一千六十萬「リール」を輸入して一千二百三
 十二萬「リール」を輸出するが通過貿易は六十萬「リール」
 なりとす、

都 邑



(河 運 大 ン エ ヲ シ)

又主要なる輸出品
 は綿、綿實、砂糖、蠶豆等
 なり、交通に關しては
 航河、運河を合はすれ
 は水路は三千裡に達
 し、鐵路は二千三百余
 裡の長を有せり
 カヒラー(五七、〇〇〇)
 はエジプトの首府に
 してアフリカ第一の
 都會なり、アレクサン
 ドリア(三三、〇〇〇)はマ
 ルムナエー運河の端

シエズ大運河

にありて當國第一の商業地なるが取引高は二千一百余萬「リール」に達せり而して居民の四分の一はヨーロッパ人なりと云ふ

シエズの大運河は長百六十九軒、水面の幅五十八乃至百米突、水底の幅二十二米突、深八米突を有せり、収入は七千五百六十一萬、フランクにして支出は二千四百四十九萬、フランクなり而して通過したる船舶は二千九百八十六隻にして實噸數は凡七、七百九十萬なり（一八九七年度）

國旗	隻數	實噸數	國旗	隻數	實噸數
イギリス	一九〇五	五三一、九一三六	トルコ	七	五五五七
ドイツ	三三五	八五、八六八五	清國	三	四〇六七
フランス	二〇二	五、九六〇六	アメリカ合衆國	三	七一五
オランダ	二〇六	三八、二四九	エチアト	三	三四一一
エステルライヒ	七八	一八、四〇三七	暹羅國	二	二五六〇

ロシア	四四	一四四、四三九	スエリゲ	一	一一二六
エスバニア	四八	一三、七八三一	ダンマルク	二	一〇四四
イタリア	七一	一一、九四六四	メキシコ	一	五三一
日本	三六	一一、四四二五	ホルトガル	一	一九五
ノルゲ	四八	八七一八三	合 計	二九八六	七八九、九三七四

運河に瀕する都會には南端にシエズ（一、二五〇〇）あり鹹湖の沿岸にイスマイリアあり北端にポールサイド（四、二〇〇〇）あり、就中ポールサイドを以て最盛なりとす

◎ トリポリ

トリポリ州はトルコに屬す、一百餘萬方畝の地積と凡二百萬の人口を有す、貿易は七百萬圓内外にして駝鳥羽、象牙皮、生毛等を輸出す

● ベルベリア地方

ベルベリア地方はアフリカの北西にありて地勢上、特殊の情態を呈す、海岸は西部に絶壁多く、東部は砂濱に富む、屈

曲に乏むからざるも、港灣の深く陸中に侵入することなし、東西に走るアトラス山脈は南北の二脈より成りて北脈をテラアトラスと云ひ、南脈をサハラアトラスと云ふ、山脈の趨勢斯の如くなれば、巨流の存在するを許さず、沼湖の如きも間斷なく水を蓄ふる能はずして所謂シオットを爲せり、氣候は沿岸の地に海候を有するも、兩山脈の間に於ける臺地は寒暑の差烈しく降雪も稀ならず、而してサハラ地方にありては寒暑の差は一層激しく、最低溫零度下六度より最高溫四十五度乃至五十度にして降雨は皆無なり。

山脈の趨勢、氣溫降雨の配布等はベルベリア地方を三帶に區劃す、テルの一帯は耕種に適し、臺地の一帯は「アルハ」を産じ、牧畜に適す、サハラの一帯は泉地の外は水なくして植物の生存極めて難し、而して天産として列擧すべきものは、鑛

物に鐵、銅、大理石、鹽等あり、植物にテル地方の溫和帶的草木并にサハラ地方の椰子樹あり、動物に獼猴、鹿、アンチロペ、等あるも、猫類は漸次に減少するが如し。

チロニシアはベルベリアの東部にありて九萬九千六百方、糶の地積と百九十萬の人口とを有す。

一千八百八十一年の條約以來フランスの保護の下に置かれたるチロニシアは君主として「ベイ」を戴き自治體を備ふるもフランス政府の派遣に係る駐在長官并に内政監督官の合意を得ざるべからず、鐵路は一千四百二十二糶の長を有し、貿易は五千三百八十二萬フランクを輸入し三千六百七十三萬フランクを輸出するが主要なる輸出品は穀類、橄欖油、家畜、魚類、アルハ、タン、等なり、首府チニス（二七、〇〇〇）は同名の湖に瀕す、古來有名なる土地にして現時にありてもア

アルジェリ

フリカ洲中屈指の都會なり、
 アルジェリアはベルベリアの中部を占むるが面積は凡そ八十萬方料と成りて人口は四百四十八萬人なり
 此の地は一千八百八十一年を以てフランス本國に合併せられたるが、總督は高等政務會議の幫助に依りてアルジェリア全部を總轄するも事務の種類に依りては本國各省の直轄に係るもの少なからず、生業は農牧を主とす、アル地方には穀類、烟草、果物等の産あり、サハラ地方には椰子實の産あり、臺地には羊、牛、駱駝、馬等の産あり、鑛業は未盛ならざるも既に鐵、銅、大理石、食鹽等を産するに至れり、貿易は輸入に二億六千九百萬フランクありて輸出に二億三千一百萬フランクあるが本國との取引は最盛にして合計は四億二千三百萬フランクに達せり而して輸出品の主なるものは葡

マグリブ

萄酒、獸類、穀類、煙草、生毛、アルハ、等なり、交通に關しては道路は漸次に發達し鐵路は二千九百三十三料の長を有するに至れり、アルジェ(九、二二二〇)は總督府、軍團司令部等の所在地にして軍府の一なるのみならず商工業共に稍盛なれば繁華の點に就きてはアルジェリア第一と稱せらる、オラン(八、一〇〇〇)は稍繁華の地なり
 マグリブ(Magreb el Aksa)即モロコはベルベリアの西部を占む、地積は四十四萬方料にして人口は八百萬と概算せらる、政治上は專政の君主を戴くも國內の統一は有名無實なり、土地は肥沃にして耕種牧畜に適するもの少なからざるも交通の便なきと管理の不整頓なるが爲に發達を妨礙せられ貿易の如きも二百六十萬磅の全計を有するに過ぎず、ハス(一五、〇〇〇)は聖地にして國內第一の繁華の市街なり、

マラケック即マロク(五〇〇〇)は製革に従事す

中部

● サハラ地方

サハラ即北アフリカ大沙漠とは北アフリカに於ける缺雨帯にして乾燥を極むる荒蕪の地を云ふなれども其の周圍には半乾半濕にして多少の降雨を見る土地の存するあれば境界は甚不明なりとす従て地積は測算者に依りて異同ありて少なきは五百五十萬方料とし多きは六百二十萬方料とせり

サハラは平坦なる砂原にあらず又附近の海面より低き凹窪の地にあらず内部の狀態は普通の陸地と同様にして丘陵あり山岳あり谿谷あり河床ありて平均の海拔は三百五十米突以上五百米突に達して平坦なる土地砂礫の臺地並列せる砂丘等はサハラの全部に比すれば其の半を占むるに過ぎず氣候は變化し易く暑氣強く乾燥を極むるも人類の生息に甚しき妨碍を



(サハラ—商隊)

爲さざるが如し晝間の高温は樹陰に於けるも四十五度乃至五十度を示し夜中の冷氣は零度下二度若くは五度に降り、降雨は甚稀にして一滴の雨水を見ざることも數年に亘ることあるも降雪は多量なり空氣は動搖し易く風力も亦強し殊にシムウンは砂塵を巻き上げ空氣の乾燥を來たし行旅者をして渴死せしむるに至るは敢て奇しからず又サハラ地方を以て天産皆無の地なるべ

しと思考するは非なり、清水に乏しからざる泉地若くは冬季に降雨を見る
 乾草原には多少の草木の生存するありて野兔、羊、牛、各種の「アンナロ」等を
 養ひ、殊に泉地には椰子樹の繁茂するありて果樹、玉蜀黍、小麥、牧草等を保護
 す、住人の數は不明にして或は二百萬とし或は五十萬とするが泉地に定住
 するあり沙漠の地に遊居するあり、マッピ岬の附近にイギリス所屬の「タル
 ハイア」あり「イフン」リ「オア」オ「ロ」等に「エス」パ「ニア」所屬の漁魚場及ビ通商地あ
 り、白岬以南の海岸並に西部「サハラ」はフランスの勢力圏内にあり、生業は案
 外の發達を成し居りて耕作に従事するの外、衣服、器具等を製するを以て單
 簡なる生活には事を缺かざるが如し而して貿易は食鹽、羽毛等を輸出して
 ヨーロッパ産の雜貨を輸入するが商業は商隊に依りて行はる

◎ニッピア

ニッピアと稱する地方はヌーバ人の居住する處なり、土地の状態はエチオ
 プに酷似せり

●スーダン地方

スーダンの境界は極めて漠然たるものなり、サハラに接す
 る北境は氣候的にして東はニール上流の河谷に達し西と
 南の一部は大西洋とギニア灣とに瀕するも、其の他はコン
 ゴーの流域、大湖の臺地に隣接せり、而して氣候はサハラと異
 なりて氣溫高きも風力稍弱く降雨多し、植物の繁茂は盛に
 して米、綿、藍、落花生等の産あり、動物は牙類、羽類、皮類等を與
 へ、鑛産には砂金あり

東方スーダン

東方スーダンはコルドハン、ダルフル、バールエルガザル、上流ニール等
 より成りてエチオプトの所領たり、地積は百九十八萬方料あるが二百萬足ら
 ずの住人あり、都會にはカルツーム(七〇〇〇)、オベイド(三〇〇〇)、エルハルシエ(三
 七〇〇)等あり

中央スーダン

中央スーダンはチャード湖とニジェール河との二大流域より成れり、チャード湖
 の流域は三百萬方料以上の面積を以て一大盤地を爲せるが三萬五千方料
 の最低處は即ちチャード湖なり、ニジェール河は水源をフータマロン山脈に發し

沿海スーダ



(湖 ド ー ナ)

長、四千呎の一大彎曲を爲し、
 プクツリを通過し、ピヌエの水を
 容れ、三角洲を形成してギニア灣
 に入る
 無所属部にはワダイ、バギルミ、
 等あるがナイワリ領地はホルス、
 ソコト等より成りて王國ナイワリ
 ー會社の管理に屬しフランス領
 スーダンはグルマ、モシ、グルンシ、
 マシナ、ダヒナ、チエバ、サモリ、カ
 アルタ等の保護地より成れり
 沿海スーダンは太西
 洋並にギニア灣ニ瀕する
 一帯の海岸地を云ふなり

西岸地

フランス領

イギリス領

ホルトガル領

而して、セチガル河以南椰子樹岬までを西岸地とし同岬以
 西カメルンとフランス領コンゴとの境界までを南岸地
 即ギニアとす

第一 西岸の地にはフランス領、イギリス領、ホルトガル
 領及びリベリア共和國あり

セチガル殖民地はフランスに屬す附近のモール保護地を合はすれば地
 積は四十餘萬方呎と成りて人口は一百十萬を超過すべし、首府セシル
 はセチガルの河口にあり而してフランス領ギニアはフォーワロンと共に
 一の殖民地を爲せり、積は十四五萬方呎にして人口は六十五萬なり
 ガンビア殖民地はガンビア河に跨る一萬二千方呎の面積と一萬餘の人
 口とを有するが首府をセントマリーと云ふ而してシエラレオネ殖民地は
 附近の保護地を合はすれば七萬方呎の地積を有するも住人の數は明なら
 ず、首府をフリータウンと云ふ

ホルトガ領ギニアは三萬七千方呎の面積を有するも人口は未詳なら

リベリア共和國

す。ビザゴス群島は本殖民に附屬す。リベリア共和國 (Republic of Liberia) は凡そ八萬五千方呎の地積と八十萬乃至二百萬の人口とを有す。住民は開化黒人と土着黒人とより成れるが、一千八百四十八年を以て獨立の共和國を設立し、アメリカ合衆國に則りて憲法を編成したり、貿易は盛なるにあらざるも椰子油、椰子實、カウチー、象牙等を輸出す、首府をモンロビアと云ふ。

南岸地

第二 南岸地即ちギニア地方とはギニア灣に瀕する海岸一帯の地を云ふ、カメルン山彙を除くの外、土地は概々平坦にして海岸に於ける沙洲は數多の潟を形成せり、氣候は炎暑にして濕潤に過ぐるを以て健康を害ふの患なき能はず、降雨は甚多く暴風「ツルナドス」は其の勢甚々猛烈なり、而して土地はフランス、イギリス、ドイツの間に分領せらる。

象牙岸

象牙岸はフランスに屬するが地積、人口共に未詳なり。

黄金岸

黄金岸はイギリスに屬す、五萬方呎の地積、七十萬の人口とを有す。

トゴランド

トゴランドはドイツに屬す、二萬乃至六萬方呎の地積と六萬乃至二十五萬の人口とを有す。

ダホマイ

ダホマイはフランスの保護地にして一萬方呎の地積と二十五萬の人口とを有す。

ラゴス

ラゴス殖民地はイギリスに屬す。

カメルン

カメルン殖民地はドイツに屬し四十二萬餘方呎の地積を有するが人口は未詳なり。

東部

● アビシニア地方

アビシニア地方と稱する地はニロビアの南、東方スーダンの東にあり、中央は海拔二千米突以上の山地を爲して四方に緩斜するが山岳は火山質にして峻嶮を極む、タナ湖は海

拔一千六百八十米突の高處にありて、パールエルアズラクと成りて、ニールの本流に合す、當地方は赤道を距ること遠からざるも土地高隆なるを以て、氣温は概、冷涼なり、然れども海拔を同じうせざる階段を形成するが故に、熱地、溫地、冷地の三帶を現出せり、而して冷地を過ぐれば、積雪の地と成りて、生物を見ること稀なるが、紅海の沿岸に於ける最低の地は炎熱灼くが如しと云ふ

イタリア領

エリソリア殖民地はイタリアに屬す、地積は凡そ二十五萬方料にして、人口は凡そ二十萬人なり。

エシオピア

エシオピア(Ethiopia)は獨立國なるが、凡そ三百七十五萬の地積と七百萬足らずの人口とを有し、珈琲、金、牙類、皮類、ゴム類、藥品等を産す、首府をアダスアババと云ふ

フランス領

バプエルマナブ海峡に於けるシエイカサイド嶼并にアデン灣底に於

けるオボックの地はフランスに屬せり

◎ソマリー地方

ソマリーは凡そ七十一萬方料の面積を有し、住人は一百万なりと稱す、イギリスはアデン灣に瀕する北岸を領有し、イタリアは印度洋に接する南東岸を所有せり

●東アフリカ地方

東アフリカ地方と稱するも、其の實は東アフリカの一部を占むるに過ぎず、北東はジバ河を挟みてソマリー、アビシニアに接し、東は印度洋に瀕し、南はロブマ河、ニヤッサ湖を隔ててモサンビク、ザンベジヤに隣り、西はキクア湖、タンガニイカ湖、アルベルトエドワード湖等に依りて、コンゴ地方、東方スーダンに境せり、而してウケレエ湖を二分する南緯一度の線并にネリマシロ山を経て沿岸のワシガに達す

イギリス領

る線より成る境界の北に於ける地はイギリスに屬し南に於ける地はドイツに屬せり

イギリス領はソマリーリ及東方スーダンの一部、ウガンダ、ウニヨロ、ザンシバル、等より成るも、境界の明確ならざるのみならず未だ充分の探検を経ざるを以て地積、人口を始るとし其の他の情況には詳にするを得ざる所多し

ウガンダ

ウガンダは七萬七千方料の地積と五百萬の人口とを有す、高隆の地にあるも山岳に乏しくウクニエ湖より出づるキビラ河并に同湖に注ぐ所の諸流の潤を受くるを以て土地は概し肥沃にして森林は蒼蔚たり、専政の君主を戴き三十萬の兵士を有するが一千八百九十三年以來イギリスの保護地と成りたり

ウニヨロ

ウニヨロは七千方料の地積と五萬の人口とを有する臺地にして北東に緩斜し南部に山岳を控ふ、カフ河及アルベクト湖に依りて灌漑の利を得るも土地は豊ならず、降雨は多量にして屢平地をして沼澤に變せしむ

ザンシバル

ザンシバル島は二千五百餘方料の地積と二十一萬の人口とを有するがザンシバル港(二八、〇〇〇)は交通上の要區にして三千五百萬磅の貿易を爲し船舶の出入も亦頗る盛にして東アフリカ第一の市街たり

ドイツ領はウサラモ、ウベナ、ウサンゴ、ウサガラ、ウゴゴ、ウコンゴ、等の各地より成れり、地積は九十四萬方料にして人口は凡三百萬なり、首府をマルエスサラムと云ふ

南あふりか

西部

●コンゴ地方

コンゴ地方はコンゴ河并に其の支流の灌域に屬する廣大なる土地にして北はスーダンと境を交へ東は東アフリカ地方に境し南東はザンベジヤに隣し南は南西アフ

この輸入と一千一百四萬の輸出とより成りて象牙、カウチ、椰子實、椰子油、珈琲、落花生等を輸出せり

フランス領

フランス領、コンゴの地積は明確ならざるも凡そ七十二萬方料ありと稱す住民は凡そ五百萬人と概算せらる

アンゴラ

アンゴラはコンゴとクチチとの間に於ける地とコンゴ以北の飛地とより成りて凡そ三十萬方料の地積とを有せり海岸は一千四百料の長に達するも屈曲に乏し氣候は沿海の地に炎暑を感じ内部には温和の地寒冷の地あり、一千九百萬の人口はハンツ派の黒色人、ホルトガル人、雜種人等より成れり

●南西アフリカ地方

南西アフリカ地方とはクチチ河以南、オレンジ河以北にありて西は大西洋の瀕、東はカラハリ沙漠に接す、政治上は一の保護地としてドイツに屬するが、ワルヒシンの一小區域はイギリスに屬せり

ドイツ領

南西アフリカ保護地は八十四萬方料の面積を有し海岸は一千六百料の延長を有するも屈曲少なく港灣の存するあるなし沿岸の地は平低にして砂礫多く荒蕪不毛の地なり内部は漸次に隆起するも最高處を過ぐればカラハリ沙漠に向ひて緩斜せり、河流は何れも水量に乏しく沼湖は概鹹味を帯ぶ氣候は寒暑の激變ありて人生に適せず、降雨は西方に多きも東方に稀なり、住人は凡そ二十萬と概算せらる

ワルヒシン

ワルヒシン、海附近の地并に二三の小島は喜望岬殖民地の所屬たり

中部

●カラハリ地方

カラハリ地方は南アフリカ内地の南部にありて南回歸線は其の中央を過ぎり、沙漠は土地の大部分を占むるが乾燥に失し砂礫の地、不毛の地多く、其の状況は北アフリカのサハラに類せり、西方の一部はドイツに屬するも其の他はイギリスの所領たり

●ザンベジヤ地方

ザンベジヤ地方とはザンベジ河の流域に當る土地を云ひて南アフリカの中央を占む

ザンベシ河は水源を中央の高地に發しザロ湖附近の沼地を緩流しかホンボを容れカフェを受けテラの附近に於ては河幅は三千五百米突を有するも再び峡谷に入りて四十米突に縮小す然れどもセンナの近傍に於てヤサ湖より出づるシン河を合はせたる後は河幅愈増大して十三米に達し三角洲を抱きてモサンビク海峡に朝すザンベシ河は源委通じて二千六百六十米に亘るが流域は百四十三萬餘の方料を有せり

當地方はニヤッサ、バロツ、バンヤイ、マシナ、マテベレ、バゼンガ、パトカ等の地に分たるるがバゼンガ、パトカはホルトガに屬し其の他はイギリスの所領にしてイギリス領中央アフリカと稱せられニヤッサを除く外はロデシヤと云ひて

イギリス領
中央アフリカ
ロデシヤ

南アフリカ會社の管轄の下にあり

●モサンビク地方

モサンビク即ちホルトガル領東アフリカと稱するは本洲の東岸地の一部なり地積は八十萬方料に達するも住人は一百萬未滿なるべし首府モザンビクは沿岸の小嶼にあり、港形佳良なるを以て船舶の出入に便なり貿易は二百四十萬、ミルレイスの輸入と一百十二萬、ミルレイスの輸出とより成れり、鐵路には二線ありて二百八十二米の長を有し航路はヨーロッパ、印度等に通せり

ホルトガル
領東アフリカ

南部

●南アフリカ共和國

南アフリカ共和國 (Zuid-Afrikaansche Republiek) は舊トランスバアルと稱せし地なり、地積は凡三十一萬方料にしてト

トランスバアル

ラケンベルグ山脈は南北に貫き、河流は概してリンボポの流域に屬するも、バアル河はオレンジの支流たり、氣候は概し良好にして健康に害なし、低處には温和の地あるも亦炎暑を覺ゆる處なきにしもあらず

住民は八十七萬人にして白人の數は二十五萬に達す、政治上は一の共和國にして大統領及大元帥を公撰す、兵備上は平時には少數の兵を有するのみなるも戰時には舉國皆兵の主義に依りて三萬足らずの兵を得べしと云ふ、生業は採礦、牧畜を主とし、農業、獵業之に次けり、産金地はデカアプ、バルベルトン、井トワテルスランド等にして産額は九百三十萬磅に達し、牧業は生毛、獸類、皮類等を與ふ、貿易は一千三百七十萬磅を輸入し一千五百萬磅を輸出するが輸出品の重なるものは金(一千五百萬磅)、生毛、獸類、穀類、皮類等なりとす、鐵

路は一千二百五十軒の長を有す、首府はプレトリアなるがヨハネスブルグ(二〇〇〇〇)は共和國の最大都會にして産金の中心たり

◎ スワツラランド

一千八百九十五年以來南アフリカ共和國の管轄と成りしスワツラランド(Swaziland)は一萬八千方軒の地積と四萬二千の人口とを有す

● オランジェ自由國

オランジェ自由國(Oranje-Vrijstaat)はバアル、オレンジ、カレドンの三河の間に狹まるる地なり、地積は十三萬餘の方軒ありて平均海拔一千三百乃至一千四百米突の臺地を爲し南と東とに山脈を控へ西に向ひて傾斜せり、水脈に乏しからざるも巨大なるものは邊境にあり、氣候は温和にして健康に適す、然れども降雨少なく乾燥に失するの患あり

オランジェ自由國

住民は二十一萬人にして八萬のブールと十三萬の黒人とを包含す、生業は牧畜と鑛業とを主とす、貿易は百二十三萬磅を輸入し百八十萬磅を輸出す、主要なる輸出品は生毛皮類、金剛石等なり、鐵路の長は七百五十九軒なるが首府をブルームホントインと云ふ

●イギリス領

イギリス領土はオレンジの流域に屬する地と印度洋に瀕する高地とより成れり、海岸は屈曲に乏しきもフランシス、セントヘレナ等の諸灣と暗礁岬、アグルハス岬、喜望岬等とを見る、而して沿海の高地は半圓形を有する三の階段より成りて内部に趣くに從ひて高を増せり、沿岸一帯の狹地は灌漑の利ありて地味も極めて豊なり、第一の階段は小カールの臺地にして牧畜に適し、第二の階段は大カール臺地

イギリス領

にして廣潤なる乾草原を爲せり、第三の階段は廣大なる臺地の一部に當り、オレンジ河に沿ひて緩慢に傾斜せり、河流は少なからざるも沿岸の高地にありては細流溪流のみにて狹口即チルーフに依りて階段を降り、而してドラケンベルグの山彙は大洋より吹き來る濕風の水蒸氣を凝結せしむるを以て一大水源を爲してオレンジ、バアル等の諸流を生ず、オレンジ河は水源を海拔三千五百米突前後のドラケンベルグ山脈のモントースールスに發しバストランドを経、カレドン河を入れ、バアル河を受くるも乾燥の地に入りて水量を損失するが故に航行に堪ふるに至らざるのみならず微々たる小流の姿を以てドイツ領南西アフリカの南境を爲して大西洋に注ぐ、バアルを母流とすれば河長は二千四百七十軒と成り、流域の面積は百三十萬方軒に達

するも降雨の盛なるに非されは巨流の稱を實にする能はずして乾燥期には水流は河床の五十分の一たるに過ぎず、氣候は概して寒暑の激變を覺えずして人生に適す、然れども濕氣に乏しく乾燥に失するの傾きあり
 住民は三百萬人以上にしてヨーロッパ人と土人とより成れるが、ヨーロッパ人にはブル、イギリス人等ありて土人にはホッテントット人、カッフル人等あり

土地	面積	人口	方軒ニ付	首府
トシガランド領地	?	?	?	
ズールー領地	二七九七〇	七、七八九二	二	エシキエ
ナタル殖民地	四、二九二〇		八	ピエタルマリツブルグ
バストランド殖民地	三、一四九〇	二五、〇〇〇	八	サバブシゴ
喜望峯殖民地	七五、六八〇三	一七四、九九六〇	二	グープタウン
本部	四九、五七四七	九五、六四八五	一	ケープタウン
西グリクランド	三、九三五九	八、三三七五	二	

ナタル殖民地

ナタル殖民地は四萬三千方呎に近き地積を有す、海岸は平低にして樹林に富み、ダーバン灣の如き良港を有す、土地は二三の階段に依り漸次に隆起してドラケンベルグ山脈に達するが、河流多くして灌流に缺乏を告ぐることなく、地味肥沃にして耕牧に適せり
 人口は凡、五十五萬にして五萬の白人と三萬五千の印度人とを除く外は悉くズールー人、カッフル人なり、生業は農牧を主とし、貿易は五百四十四萬磅を輸入し百七十八萬五千磅

ナンブランド	一、〇六七六	一八〇、四二五	一七	コクスタット
トランスケイ	六六〇九	一五、三五六三	二	イチャタイロ
ワルヒッシュヤ灣	一一二四	七六八	〇	七
ベチャアナランド	一七、三二六〇	七二、七三六	〇	フリブルグ
ポンドランド	一、〇四七〇	一五、〇〇〇	一	バルマートン
東グリクランド	一、九六六八	一五、二六一八	八	コクスタット

を輸出す、鐵路は六百四十二軒の長を以て殖民地の要處を
連絡し沿海の要港は定期航海線に當れり、首府はビエラル
マリツブルグ(二、五〇〇〇)にしてナタル港(二、五〇〇〇)は盛に貿
易に従事す

喜望岬殖民
地

喜望岬殖民地は其の屬地を合はすれば七十六萬方軒の
地積と百七十五萬の人口とを有す、生業は耕種を主とし葡
萄を栽培し家畜を飼養するの外、林産あり、鑛産あり、又蒸溜
醸造、製革等に従事す、貿易は一千七百三十五萬磅の輸入及
一千六百七十磅の輸出を爲すが輸出品の主要なるものは
金、金剛石、羊毛、皮類等なり、鐵路は四千餘軒ありて、電信線は
一萬三千軒に達す、而して海底電線は當地方をヨーロッパに
連ね、定期航海船は當地沿岸の要港とヨーロッパ并にオース
トラリアの諸港との間を往復す、ケープタウン(五、一〇〇〇)は

行政上并に軍事上の中心たり、港形は佳良なるに非ざるも
交通上の要處として商業は繁榮せり、ポートエリサベス(一、
三〇〇〇)も亦繁昌なる商港たり、キムバーレイ(二、九〇〇)は金
剛石を産するを以て名あり

嶋嶼部

アフリカ洲に屬する嶋嶼を分ちて三群とす、其の一は印
度洋にありてソコトラ嶋、セイシル諸島、アミランテ諸島、コ
モロ諸島、マスカレンハス諸島及マダガスカル島等より成
り、其の二は南太西洋にありてトリスターオダクンハ、セン
トヘレナ、アスセンション及ギニア灣諸島等より成り、其の三
は北太西洋にありて綠岬諸島、カナリア諸島、マデイラ諸島
アソレス諸島等より成れり

◎ 印度洋島嶼